

## 徳島県で採集された蛾類 I

外村俊輔<sup>1</sup>

[Shunsuke Tomura<sup>1</sup>: Moths collected in Tokushima Prefecture, Shikoku, Japan, part 1 (Insecta : Lepidoptera)]

**Abstract** : Moths were collected from various locations in Tokushima Prefecture, Shikoku, Japan between 2023 and 2025. These were collected using a light trap, sweeping and by searching for larval host plants. Among them, species identified to date, including distributionally notable ones, are listed. The results revealed 82 species belonging to 15 families, with 16 species newly recorded from Tokushima Prefecture and 4 species new to the fauna of Shikoku. Many species listed on the Ministry of the Environment's Red List were also collected, suggesting the need for more intensive faunal research especially in grasslands, riverbanks, and coastlines. Some species were also proposed for inclusion in the Red List of Tokushima Prefecture.

キーワード：海岸，河川敷，照葉樹林，草原，相調査，剣山，低地環境

### はじめに

徳島県では、1950年代より始まった徳島県教育会等主催の総合学術調査団体や高知大学による調査（例：小島ほか，1964；永井・富永，1971），あるいは愛好家らによる採集によって，蛾類相に関する記録が蓄積されてきた。これらにより，特に大蛾類の記録が充実しているが，小蛾類については十分な調査が行われていなかった（広渡ほか，2012；広渡ほか，2022）。しかし，近年の調査によって小蛾類の記録も増えつつある。これらの記録の多くは剣山，那賀郡，高越山，海陽町など高標高あるいは自然度の高い地域から得られたものである。また，外村・樋口（2025）により低地の照葉樹主体の二次林における蛾類相の解明は進んでいるが，依然として都市近郊や低地環境，海浜や草原についての情報は不足している。

筆者は徳島県における蛾類相の包括的解明のために，2023年から2025年にかけて県内各地の針葉樹林，落葉広葉樹林，照葉樹林，草原，河川敷，海岸などの様々な環境で，主に夜間のライトトラップによって蛾類を採集した。これらのうち，現在までに同定が完了している種，県初記録など特筆すべき種などについて報告する。標本はすべて徳島県立博物館に保管されている。

### 方法

2023年から2025年にかけて，県内各地での水銀灯，

HIDランプとブラックライトを用いた夜間の灯火採集，昼間の見つけ採りおよびスウィーピング，寄主植物からの幼虫の採集と飼育・羽化等の手法で採集した。その後，外部形態を用いて同定，整理を行った。和名や学名等の表記，分類体系，並び順は主に日本産蛾類標準図鑑 I, II, III, IV（岸田，2011a；2011b；広渡ほか，2013；那須ほか，2013）と神保（2021）に従った。採集者名に関して，以下のように略す：外村俊輔，ST；香川周大，NK；鈴木佑弥，YS；大原賢二，KO。また，LTは灯火採集（light trap），em.は羽化（emerged）を指す。

### 結果

15科82種を記録した。四国初記録種としてイチジョウヒメハマキ，トウヒツヅリヒメハマキ，クロホソマイコガ，ニセトガリヨトウの4種，徳島県初記録種として，ホルトノキナガヒゲガ，アコウハマキモドキ，キオビセセリモドキ，ハマゴウノメイガ，コケヒメエダシャク，タケウチエダシャク，マエモンオオナミシャク，ナチキシタドクガ，クロモンオビリング，ミナミトガリアツバ，ウスズミケンモン，コゴマヨトウ，ギンモンアカヨトウ，チビウスキヨトウ，コケイロホソキリガ，ムラサキミツボシキリガの16種が確認された。希少な種や分布上特筆すべき種等に関しては解説を付記している。

2025年12月3日受付，12月17日受理。

<sup>1</sup> 徳島県立博物館，〒770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園。Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Hachiman-chô, Tokushima 770-8070, Japan.

## Lepidoptera 鱗翅目

## Micropterigidae コバネガ科

1. *Neomicropteryx elongata* Issiki, 1953 ツルギヒロコバネ

吉野川市山川町奥野井, 4 ♂, 4.V.2024, ST leg.; 那賀郡那賀町沢谷, 7 ♂ 1 ♀, 3.V.2024, ST leg.; 1 ♀, 18.V.2024, LT, ST leg.; 14 ♂ 1 ♀, 4.V.2025, ST leg.; 神山町上分, 1 ♂, 18.V.2024, ST leg.; 神山町神領雨乞の滝, 2 ♂, 4.V.2024, ST leg.; つるぎ町一字桑平, 9 ♂, 26.V.2025, ST leg. (Fig. 1-A); 美馬市木屋平川上, 3 ♂, 26.V.2025, ST leg.; 3 ♂, 31.V.2025, ST leg.

徳島県と高知県の固有種(広渡ほか, 2013). 高知県の梁瀬, 徳島県では剣山周辺(桑平)からのみ知られていた(Hashimoto, 2006; Issiki, 1953)が, 東部の比較的標高の地域にも広く分布することが分かった(Fig. 9-A). 幼虫はジャゴケ科のジャゴケ *Conocephalum conicum* (L.) Dumort. を摂食する(広渡ほか, 2013). 灯火で得られた個体以外は, いずれも道路沿いで直射日光が当たらず, 湧水などで湿度が保たれてジャゴケで覆われている斜面で昼間に静止もしくは飛翔している個体が得られた(Figs. 6-A, B).

## Hepialidae コウモリガ科

2. *Endoclita excrescens* (Butler, 1877) コウモリガ

美馬市脇町西赤谷, 1 ♀, 27.IX.2024, NK leg.

## Roeslerstammiidae ヒカリバコガ科

3. *Agriothera elaeocarpophaga* Moriuti, 1978 ホルトノキナガヒゲガ 徳島県初記録

徳島市八万町向寺山, 1 ♂, 27.VII.2023, ST leg. (Fig. 1-B); 徳島市西富田町, 1 ♂, 7.VII.2024, ST leg.

本州, 四国(愛媛県, 高知県), 九州, 福江島, 屋久島, 南西諸島に分布する(広渡ほか, 2013; 片岡, 2020; 宮野, 2023). 葉上に静止していた個体が昼間に採集された(Fig. 6-C). 寄主はホルトノキ科のホルトノキ *Elaeocarpus zollingeri* K.Koch とコバンモチ *E. japonicus* Siebold et Zucc. (広渡ほか, 2013; 富永, 2006)で, 県内では自生や街路樹で多く見られる.

## Glyphipterigidae ホソハマキモドキガ科

## Glyphipteriginae ホソハマキモドキガ亜科

4. *Lepidotarphius perornatellus* (Walker, 1864) ツマキホソハマキモドキ

徳島市八万町法花谷, 1 ♂, 3.VI.2024, YS leg.; 3 ♂ 1 ♀, 6.VI.2024, ST leg. (Fig. 1-C); 4 ♂, 5.VI.2025, ST leg.

本州, 四国(香川県, 愛媛県), 九州に分布し, 寄主はサトイモ科のショウブ *Acorus calamus* L., セキショウ *A.*

*gramineus* Sol. ex Aiton (広渡ほか, 2013; 片岡, 2017; 豊嶋・高木, 1979). 向寺山麓東部の谷戸のきわめて小規模な湿地帯のショウブに静止していた個体が夕方に得られた(Fig. 6-D). インターネット上には神山町での撮影記録がある(虫撮りデジカメ日記, 2025).

## Tortricidae ハマキガ科

## Olethreutinae ヒメハマキガ亜科

## Olethreutini ヒメハマキガ族

5. *Dicephalarcha dependens* (Meyrick, 1922) イチジョウヒメハマキ 四国初記録

徳島市八万町向寺山, 1 ♀, 24.XI.2023, ST leg. (Fig. 1-D)

中国に分布し, 2021年に大阪府の個体をもとに国内で初めて記録され(那須・清水, 2021), その後愛知県と大阪府, 西表島から発見されている(間野, 2023; 2024; 長田・桂, 2023). 河畔林や里山で得られており(間野, 2023; 那須・清水, 2021), 徳島県では雑木林の林縁で静止していた個体が昼間に採集された. 寄主は不明(那須・清水, 2021).

## Eucosmini モグリヒメハマキガ族

6. *Epinotia piceae piceae* (Issiki, 1961) トウヒツヅリヒメハマキ日本本土亜種 四国初記録

那賀郡那賀町剣山, 1 ♀, 31.V.2025, ST leg. (Fig. 1-E)

北海道, 千島列島, 本州に分布し(那須, 2021; 那須ほか, 2013), 長野県や奈良県大台ヶ原で大発生することがある(鈴木・駒井, 1984). 本報が最も南の記録となると思われる. 剣山山頂付近のササ原にあるマツ科のウラジロモミ *Abies homolepis* Siebold et Zucc. とシコクシラベ *Abies veitchii* Lindl. var. *reflexa* Koidz. を主体とする針葉樹の疎林で, ウラジロモミの葉のスウィーピングで昼間に得られた(Fig. 6-E). 寄主はマツ科のモミ属 *Abies*, トウヒ属 *Picea*(那須, 2021)で, 剣山でもモミ属が多く自生する山頂付近の亜寒帯性針葉樹林に依存していると考えられる. 成虫は6~8月に見られるとされる(那須, 2021)が, 剣山では5月下旬に得られており, 発生時期が早いと考えられる.

## Choreutidae ハマキモドキガ科

## Choreutinae ハマキモドキガ亜科

7. *Choreutis achyroides* (Meyrick, 1912) アコウハマキモドキ 徳島県初記録

小松島市金磯町, 1 ♂ 5 ♀, 28.VI.2025, ST leg. (Fig. 1-F)

本種はクワ科のアコウ *Ficus superba* (Miq.) Miq. のみを寄主としており, 寄主が自生する西日本の暖温帯に分布する(広渡ほか, 2013). 本州(和歌山県), 四国(愛媛県,

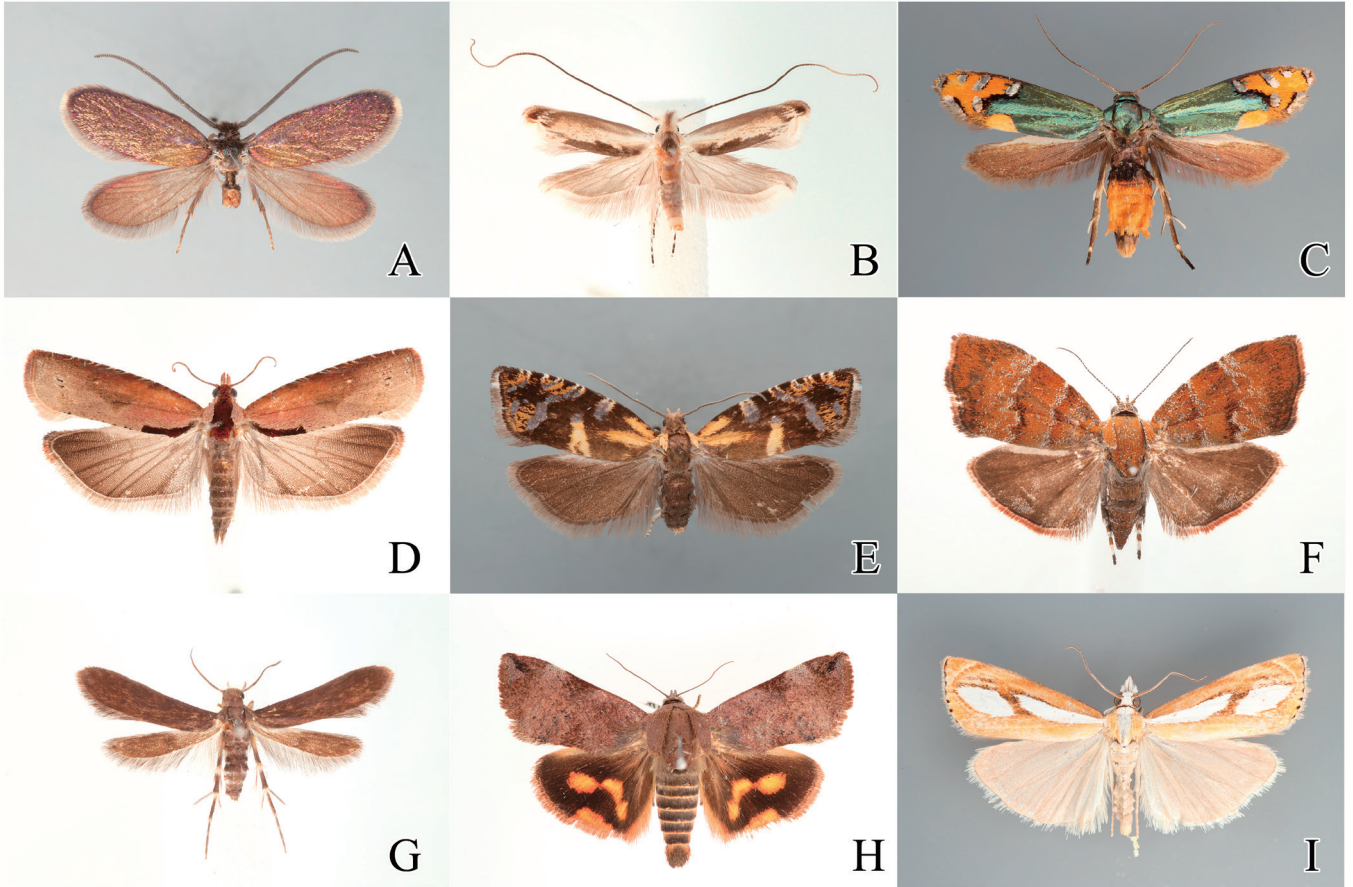


Fig. 1. Moths collected from Tokushima Prefecture. A: *Neomicropteryx elongata* ツルギヒロコバネ; B: *Agriothera elaeocarpophaga* ホルトノキナガヒゲガ; C: *Lepidotarphius perornatellus* ツマキホソハマキモドキ; D: *Dicephalarcha dependens* イチジョウヒメハマキ; E: *Epinotia piceae piceae* トウヒツツリヒメハマキ日本本土亜種; F: *Choreutis achyrodes* アコウハマキモドキ; G: *Corsocasis coronias* クロホソマイコガ; H: *Hyblaea puera* キオビセセリモドキ; I: *Catoptria montivaga* フタテンツトガ.

高知県), 九州, 南西諸島 (沖縄島, 宮子諸島, 石垣島, 西表島, 与那国島) (広渡ほか, 2013; 東, 2002; 片岡, 2015, 2017; 真鍋, 2012b; 長田, 2017; 四国産蛾類図鑑, 2025; 吉田, 2019) から記録がある. アコウの葉上で静止していた個体を昼間に採集した (Figs. 6-F, G). 本種が採集された金磯町弁天山のアコウは国内における自生北限地の一つとして徳島県の天然記念物に指定されており (中西, 2020), 本種の分布の北限にも相当すると考えられる.

#### Schreckensteiniidae ホソマイコガ科

#### 8. *Corsocasis coronias* Meyrick, 1912 クロホソマイコガ 四国初記録

海陽町平井王余魚谷, 1 ♀, 15.VII.2023, ST leg. (Fig. 1-G)  
本州 (愛知県), 九州, 屋久島, 奄美大島に分布し, 寄主はサクラソウ科のモクタチバナ *Ardisia sieboldii* Miq. の果実 (間野ほか, 2016; 那須ほか, 2013; 那須ほか, 2023). 轟の滝へ向かう遊歩道沿いのスウィーピングで夕方に見られた (Fig. 6-H).

#### Hyblaeidae セセリモドキ科

#### 9. *Hyblaea puera* (Cramer, 1777) キオビセセリモドキ 徳島県初記録

板野郡上板町高瀬, 1 ♂, 26.IX.2024, larva, 4. X. 2024 em., ST leg.; 徳島市大神子公園, 1 ♂, 18.VII.2024, larva, 4.VIII.2024 em., ST leg.; 美波町大浜海岸, 2 ♀, 13.IX.2024, larvae, 29.IX.2024 em., 6.X.2024 em., ST leg.; 美波町田井ノ浜, 11 ♂ 4 ♀, 13.IX.2024, larvae, 3 ♂, 25-30. IX.2024 em., 8 ♂ 4 ♀, 1-3.X.2024 em., ST leg. (Fig. 1-H); 海陽町浅川鯖瀬浜, 4 ♂, 21.IX.2024, larvae, 2 ♂, 1.X.2024 em., 2 ♂, 4.X.2024 em., ST leg.; 海部郡海陽町大里, 1 ♂ 1 ♀, 22.VII.2024, ST leg.; 海陽町海部川河口, 1 ♂, 21.IX.2024, pupa, 23.IX.2024 em., ST leg. 寄主: すべてシソ科のハマゴウ *Vitex rotundifolia* L.f.

本州, 四国 (愛媛県, 高知県), 九州, 南西諸島, 小笠原諸島に分布するが記録は散発的で, 偶産と推定される (小島ほか, 1964; 真鍋, 2019; 那須ほか, 2013). 2024年に全国各地で多く発生しており (例: 藤川・佐藤, 2024),

徳島県でも各地のハマゴウが自生する海岸で7月から9月にかけて多くの幼虫と営巣跡、成虫が確認されたほか、ハマゴウに訪花する個体も見られた (Figs. 6-I, J, K, L, M, N, O, 9-B). また、上板町高瀬の吉野川中流の河川敷に孤立しているハマゴウ群落でも発生していた。

### Crambidae ツトガ科

#### Crambinae ツトガ亜科

#### 10. *Catoptria montivaga* (Inoue, 1955) フタテンツトガ

三好市東祖谷見ノ越, 2♂, 4.VIII.2025, LT, ST leg. (Fig. 1-I)

本州 (中部山岳地帯), 四国 (剣山, 石鎚山), 九州 (九重山) の高標高帯に分布し, 寄主は不明 (那須ほか, 2013). 剣山登山口付近, 標高 1,380 m での灯火採集で得られた。

### Pyraustinae ノメイガ亜科

#### Pyraustini ノメイガ族

#### 11. *Aglaops albipennis* (Inoue, 2000) ハマゴウノメイガ 徳島県初記録

鳴門市北灘町折野, 1♂ 6♀, 31.VII.2025, ST leg.; 鳴門市里浦大手海岸, 1♂ 5♀, 31.VII.2025, ST leg.; 徳島市大神子海岸, 3♀, 18.VII.2024, larvae, 4.VIII.2024 em., 7.VIII.2024 em., 11.VIII.2024 em., 2♀, 3.VII.2025, ST leg.; 徳島市小神子海岸, 7♀, 3.VII.2025, ST leg.; 美波町田井ノ浜, 1♀, 13.IX.2024, larva, 25.IX.2024 em., ST leg.; 美波町木岐, 3♀, 13.IX.2024, larvae, 1♀, 2.X.2024 em., 2♀, 20.X.2024 em., ST leg.; 海陽町浅川鱒瀬浜, 2♂ 3♀, 21.IX.2024, larvae, 1♂, 30.IX.2024 em. (Fig. 2-A), 1♂ 1♀, 11.X.2024 em., 1♀, 13.X.2024 em., 1♀, 16.X.2024 em., ST leg.; 海部郡海陽町大里, 2♀, 22.VII.2024, larvae, 8.VIII.2024 em., ST leg.; 海陽町海部川河口, 1♂ 1♀, 21.IX.2024, larvae, 1♀, 17.X.2024 em., 1♂, 18.X.2024 em., ST leg. 寄主: すべてシソ科のハマゴウ *Vitex rotundifolia* L.f.

本州 (中部地方以西), 伊豆諸島 (三宅島), 四国, 九州, 福江島に分布し (那須ほか, 2013; 宮野, 2023), 四国の個別の記録は不明である。徳島県各地のハマゴウの群落がある砂浜~礫の海岸で, 7月から9月にかけて花芽を摂食する幼虫と飛翔する成虫が昼間に得られた (Figs. 6-I, J, P, Q, R, 9-B). ハマゴウの自生地では個体数は多い。灯火にも飛来することがある (松井, 2019)。

### Geometridae シャクガ科

#### Ennominae エダシク亜科

#### 12. *Dischidesia kurokoi* Inoue, 1963 コケヒメエダシク 徳島県初記録

勝浦郡上勝町高丸山, 1♂, 14.VII.2024, ST leg.; 1♂ 1♀, 13.VII.2025, ST leg. (Fig. 2-B)

福岡県, 熊本県, 高知県からのみ知られる稀種で (福菌, 2022; 河村, 1984; 岸田, 2011a), 四国では高知県香美市別府峡でのみ記録がある (真鍋, 2007; 真鍋, 2016). 寄主は蘚類 (岸田, 2011a). 高丸山の登山道沿いにある, 直射日光が当たらず湧水で湿度が保たれ, 蘚類で覆われた斜面の一角でのみ昼間に得られた (Figs. 6-S, T).

#### 13. *Nyssiodes lefuarius* (Erschoff, 1872) フチグロトゲエダシク

徳島市上吉野町, 1♂, 7.II.2024, ST leg. (Fig. 2-C)

北海道, 本州, 四国, 九州に分布し, 多様な草本を寄主とする (岸田, 2011a). 徳島県のレッドリストで絶滅危惧II類に選定されており, 吉野川下流の堤防のみで生息が確認されている (真鍋, 2019; 三木, 1983; 徳島県, 2013). 吉野川下流の河川敷で風のない晴天の午前中に飛翔するオスが採集された (Figs. 7-A, B). 他の河川でも探索を試みたが, 発見できていない。本種はオスが2月上旬の晴天時のみ飛翔するという生態のため (岸田, 2011a), 探索できる時間が限られることが発見例の少なさに起因していると思われる。

#### 14. *Apochima excavata* (Dyar, 1905) クワトゲエダシク

美馬市脇町西赤谷, 1♂, 9.II.2024, NK leg.; 1♂, 13.II.2024, NK leg.; 1♂, 14.II.2024, NK leg.; 1♂, 16.II.2024, NK leg.; 1♂, 23.II.2024, ST leg.; 吉野川市鴨島町麻植塚, 1♂, 23.II.2024, ST leg.; 徳島市八万町大坪, 1♂, 16.II.2024, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1♂, 2.II.2024, Hiroyuki Yoshinari leg. (Fig. 2-D)

環境省レッドリストの準絶滅危惧に選定されている (環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2015). 詳細は外村・樋口 (2026) を参照。各地の平地の施設やコンビニエンスストア等の街灯に飛来した個体得られた (Fig. 7-C). 県内での個体数は極端に少なくはないと思われる。

#### 15. *Biston takeuchii* Matsumura, 1931 タケウチエダシク 徳島県初記録

佐那河内村上大川原, 1♂, 14.IV.2024, LT, ST leg. (Fig. 2-E)

本州, 四国 (高知県), 九州から得られているが, 産地は限定される (岸田, 2011a; 小島ほか, 1964). 高知県では絶滅危惧II類に選定されている (高知県林業振興・環境部環境共生課, 2017). 野外寄主は不明だが, 飼育下ではヤマモモ科, ブナ科, ヤナギ科が知られ, 広食性と推定される (岸田, 2011a). ハンノキ類とマツ類を主体とする落葉広葉樹林の林縁の駐車場での灯火採集で得られた

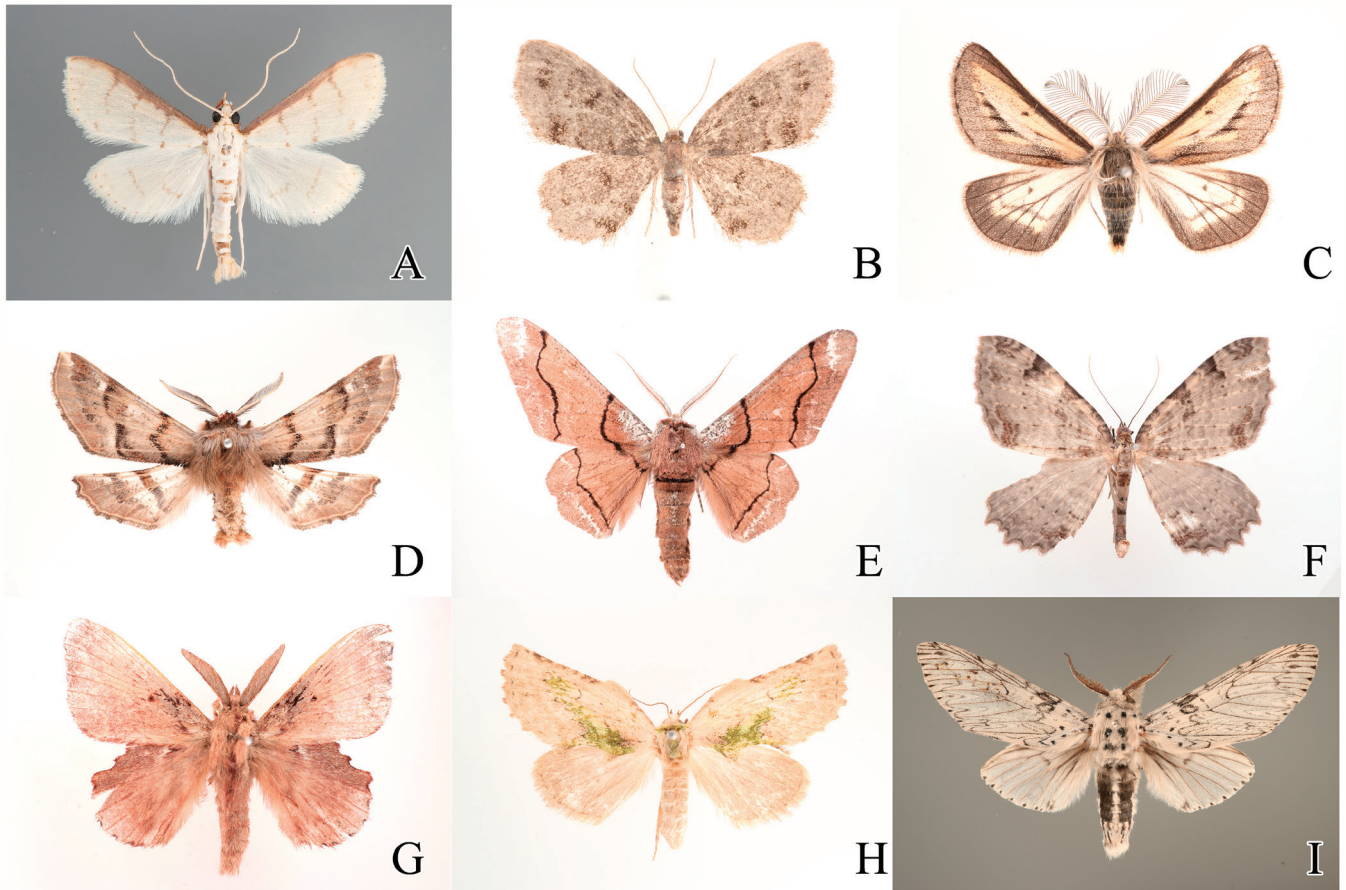


Fig. 2. Moths collected from Tokushima Prefecture. A: *Aglaops albipennis* ハマゴウノメイガ; B: *Dischidesia kurokoi* コケヒメエダシャク; C: *Nyssiodes lefuarius* フチグロトゲエダシャク; D: *Apochima excavata* クワトゲエダシャク; E: *Biston takeuchii* タケウチエダシャク; F: *Triphosa sericata sericata* マエモンオオナミシャク日本亜種; G: *Takanea excisa japonensis* オオミヤケカレハ日本亜種; H: *Platychasma virgo* ハネブサシャチホコ; I: *Cerura erminea erminea* オオモクメシャチホコ日本亜種.

(Fig. 7-D).

**Larentiinae ナミシャク亜科**

**16. *Triphosa sericata sericata* (Butler, 1879) マエモンオオナミシャク日本亜種 徳島県初記録**

美馬市不動の岩屋, 1♂, 4.VIII.2025, ST leg.; 那賀郡那賀町桃源洞, 1♀, 31.VII.2024, YS leg. (Fig. 2-F)

北海道, 本州, 四国 (愛媛県, 高知県), 九州, 対馬に分布し, 夏に羽化した成虫は洞窟内で越冬, 越冬し, 翌春に交尾産卵するとされる (片岡, 2017; 岸田, 2011a; 真鍋, 1999a; 1999c). 県内でも夏に2か所の洞窟内の壁面 (Fig. 7-E) で休眠している様子が観察された. 寄主はクロウメモドキ科のクロウメモドキ *Rhannus japonica* Maxim., ミヤマクマヤナギ *Berchemia pauciflora* Maxim., クマヤナギ *B. racemosa* Siebold et Zucc. (岸田, 2011a).

**Lasiocampidae カレハガ科**

**Lasiocampinae マツカレハ亜科**

**17. *Takanea excisa japonensis* Marumo, 1920 オオミヤケカレハ日本亜種**

三好市東祖谷見ノ越, 2♂, 4.VIII.2025, LT, ST leg. (Fig. 2-G)

本州 (紀伊半島), 四国 (徳島県, 愛媛県, 高知県), 九州に分布し, 県内では剣山夫婦池と那賀町沢谷から知られるが少ない種とされる (広渡ほか, 2015; 石原ほか, 1953; 川島, 2017b; 岸田, 2011a; 永井・富永, 1971). 寄主は不明 (岸田, 2011a). 剣山登山口付近, 標高 1,380 m での灯火採集で得られた (Fig. 7-F).

**Notodontidae シャチホコガ科**

**Platychasmatinae ハネブサシャチホコ亜科**

**18. *Platychasma virgo* Butler, 1881 ハネブサシャチホコ**

勝浦郡上勝町高丸山, 1♀, 14.VII.2024, larva, 8.VIII.2024 em., ST leg. (Fig. 2-H) 寄主: ムクロジ科のカジカエデ *Acer diabolicum* Blume ex K.Koch

本州, 四国 (徳島県, 愛媛県, 高知県), 九州に分布

し、寄主がカジカエデのみの単食性であるため寄主の生息地に依存する局所的な分布を示す（広渡ほか，2015；岸田，2011b；小島ほか，1964；真鍋，1999a；山本・増井，2000）。県内では剣山と神山町の雲早山で記録がある（広渡ほか，2015；増井，1978b）。高丸山の登山道沿いのカジカエデ葉上から終齢幼虫を採集し、飼育羽化させた（Fig. 7-G）。

#### Phelerinae ツマキシヤチホコ亜科

##### 19. *Phalera minor* Nagano, 1916 クロツマキシヤチホコ

徳島市八万町向寺山，1 ♀，15.VI.2023, ST leg.

#### Notodontinae ウチキシヤチホコ亜科

##### Dicranurini モクメシヤチホコ族

##### 20. *Furcula furcula* (Clerck, 1759) ナカダロモクメシヤチホコ

徳島市八万町千鳥，1 ♀，12.IV.2024, YS leg.

##### 21. *Cerura erminea erminea* (Esper, [1783]) オオモクメシヤチホコ日本亜種

那賀郡那賀町沢谷，1 ♂，31.V.2025, LT, ST leg. (Fig. 2-I)

北海道，本州，四国（徳島県，小豆島，愛媛県，高知県），九州に分布し，県内では剣山と塩塚高原で記録がある（片岡，2017；岸田，2011b；真鍋，2007，2011a；増井，1978b）。谷沿いの林縁での灯火採集で得られた。寄主はヤナギ類（岸田，2011b）。

##### Notodontini ウチキシヤチホコ族

##### 22. *Drymonia basalis* Wileman & South, 1917 ノヒラトビモンシヤチホコ

徳島市眉山町茂助ヶ原，1 ♂ 1 ♀，23.III.2024, LT, ST leg.；徳島市八万町下福万，1 ♀，8.IV.2024, ST leg.

##### 23. *Leucodonta bicoloria* (Denis & Schiffermüller, 1775) モンキシロシヤチホコ

那賀郡那賀町沢谷，6 ♂，31.V.2025, LT, ST leg. (Fig. 3-A)

北海道，本州，四国（石鎚山，寒風山，剣山）に分布し，中部地方以西では山地に限局的とされる（片岡，2017；岸田，2011b；小島ほか，1964）。県内では剣山周辺でのみ確認されていた（永井・富永，1971；Nakamura，1978）が，那賀町の高城山周辺にも分布することが判明した。谷沿いの林縁での灯火採集で得られている。寄主はカバノキ科のダケカンバ *Betula ermanii* Cham.，シラカンバ *B. platyphylla* Sukaczew，ミズメ *B. glossa* Siebold et Zucc.，バラ科のアズキナシ *Aria alnifolia* (Siebold et Zucc.) Koehne，ナナカマド *Sorbus commixta* Hedl.（岸田，2011b）。剣山ではダケカンバとナナカマドが多く，高城山にはミズメがあるた

め（阿部，1990），それぞれを寄主としていると推測される。紀伊半島と中国地方，四国地方で得られる個体群は内横線前縁寄りの紋が黒色で橙色部が消失するという特徴が知られ，かつては亜種区分もされていた（岸田，2011b；Nakamura，1978）が，画像のように残存する個体もある（Fig. 3-A）。

##### 24. *Odontotia sieversii japonibia* Matsumura, 1929 シーベルスシヤチホコ日本亜種

つるぎ町一字葛籠，3 ♂，20.IV.2024, LT, ST leg. (Fig. 3-B)

北海道，本州，四国（徳島県，愛媛県，高知県），九州に分布し，四国では高標高の山地から知られる（片岡，2017；岸田，2011b；川島，2017a；真鍋，1999b；増井，1978b）。県内では剣山周辺でのみ確認されており（福田，2019；増井，1978b），剣山のウラジロモミ林での灯火採集で得られた（Fig. 7-H）。寄主はカバノキ科のカンバ類（岸田，2011b）で，採集地周辺にはダケカンバ *Betula ermanii* Cham. が見られた。

##### 25. *Ptilophora nohirae* (Matsumura, 1920) クシヒゲシヤチホコ

那賀郡那賀町沢谷，5 ♂，7.XII.2023, LT, ST leg.

##### 26. *Lophontotia pryeri* (Butler, 1879) プライヤエグリシヤチホコ

徳島市八万町下福万，1 ♀，6.X.2023, ST leg.

#### Lymantriidae ドクガ科

##### 27. *Ilema* (*Cadrosia*) *nachiensis* (Marumo, 1917) ナチキシタドクガ 徳島県初記録

徳島市佐古山町眉山，1 ♀，24.VII.2023, LT, ST leg. (Fig. 3-C)

本州（関東地方以西），四国（愛媛県，高知県），九州，対馬，福江島，屋久島，南西諸島に分布し，暖地性の広食者である（片岡，2017；川島，2017b；岸田，2011b；小島ほか，1964；宮野，2023）。眉山の林内の道路沿いでの灯火採集で得られた（Fig. 7-I）。

##### 28. *Laelia coenosa sangaica* Moore, 1877 スゲドクガ日本亜種

三好市山城町塩塚高原，1 ♀，23.IX.2023, LT, ST leg.；2 ♂ 1 ♀，6.IX.2025, LT, ST leg. (Fig. 3-D)

北海道，本州，四国（全県）に分布し，県内では池田町雲辺寺山と塩塚高原から知られる（川島，2017b；岸田，2011b；真鍋，2011b；増井，2012b）。寄主としてカヤツリグサ科，ガマ科のガマ *Typha latifolia* L.，イネ科のヨシ *Phragmites australis* (Cav.) Trin. ex Steud. が知られる（岸田，2011b）。湿地性種であるが，湿地の減少に伴って少なくなっており，環境省レッドリストの準絶滅危惧に選定さ

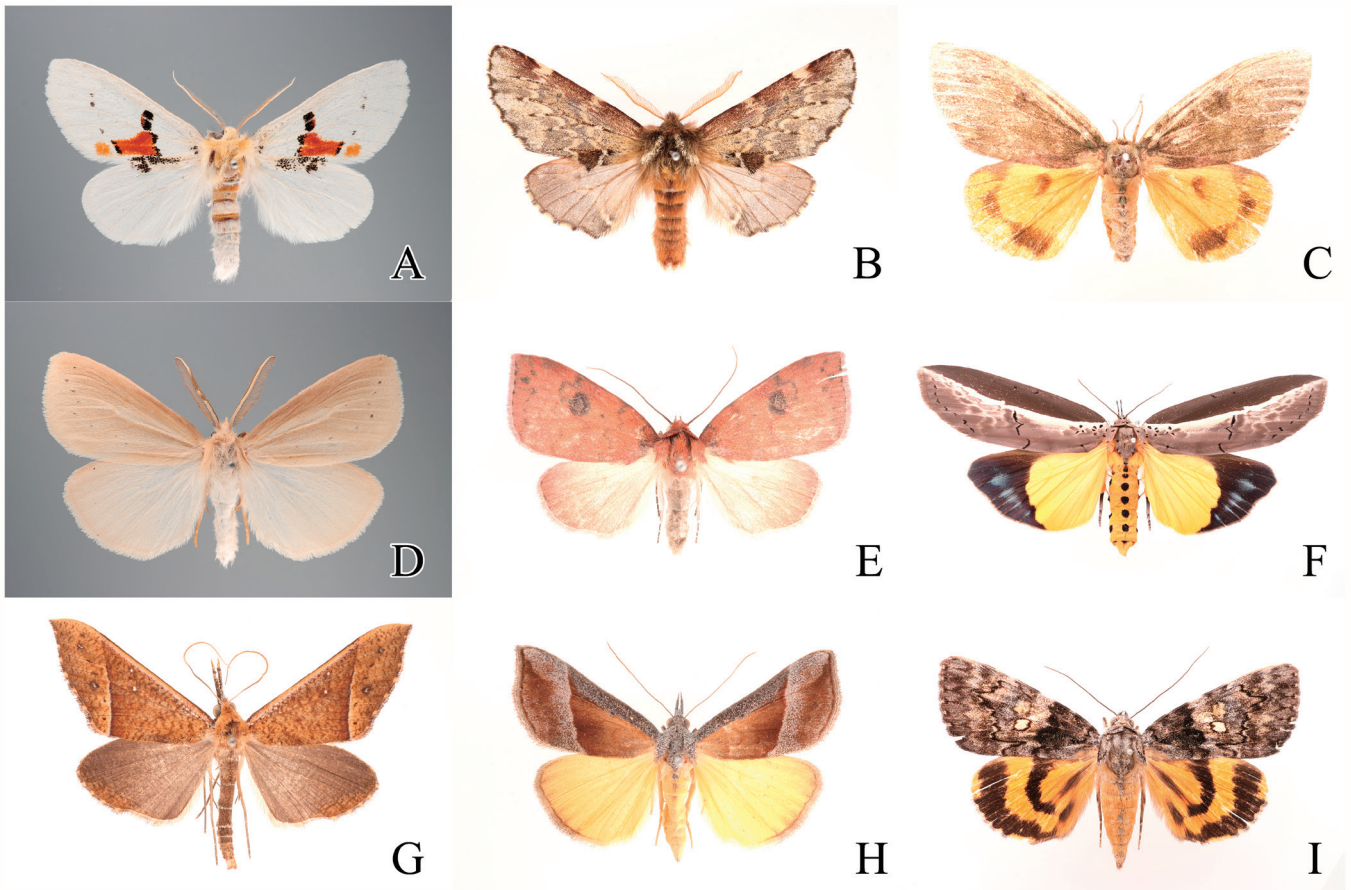


Fig. 3. Moths collected from Tokushima Prefecture. A: *Leucodonta bicoloria* モンキシロシャチホコ; B: *Odontotia sieversii japonibia* シーベルスシャチホコ日本亜種; C: *Ilema (Cadrusia) nachiensis* ナチキシタドクガ; D: *Laelia coenosa sangaica* スゲドクガ日本亜種; E: *Gelastocera rubicundula* クロモンオビリンガ; F: *Eligma narcissus narcissus* シンジュキノカワガ日本亜種; G: *Anoratha paritalis* ミナミトガリアツバ; H: *Hypena claripennis* キシタアツバ; I: *Catocala separans* フシキキシタバ.

れている(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2015; 岸田, 2011b). 野焼き草原として知られる塩塚高原での灯火採集で得られた (Figs. 7-J, K). 当地には湿地はほとんどなく, 草原の植生で発生していると思われる。

#### Nolidae コブガ科

##### Chloephorinae リンガ亜科

#### 29. *Gelastocera rubicundula* (Wileman, 1911) クロモンオビリンガ 徳島県初記録

海部郡海陽町小川, 1 ♀, 8.XI.2023, LT, ST leg. (Fig. 3-E)

本州, 四国南部(愛媛県, 高知県), 九州, 屋久島の暖地の照葉樹林に分布するが少ない(片岡, 2017; 岸田, 2011b; 増井, 1981). 溪谷沿いの照葉樹林内での灯火採集で得られた (Fig. 7-L). 寄主は不明(岸田, 2011b).

#### 亜科所属不明

#### 30. *Eligma narcissus narcissus* (Cramer, 1775) シンジュキノカワガ日本亜種

徳島市八万町上長谷, 10 ♂ 6 ♀, 24.X.2023, pupae, 1 ♂, 24-25.X.2023 em., 3 ♂ 3 ♀, 31.X-2.XI.2023 em., 3 ♂ 1 ♀, 1.XI.2023 em., 1 ♀, 2.XI.2023 em., 1 ♀, 2-3.XI.2023 em., 2 ♂, 5-6.XI.2023 em., 1 ♂, 7.XI.2023 em., KO leg.; 5 ♂, 26.X.2023, pupae, 3 ♂, 10.XI.2023 em., 1 ♂, 12.XI.2023 em., 1 ♂, 31.X.2023 em., ST leg.; 2 ♀, 9.XI.2023, pupae, 20.XI.2023 em., ST leg.; 徳島市八万町大坪, 1 ♀, 17.X.2023, ST leg. (Fig. 3-F); 1 ♀, 28.XI.2023, ST leg.; 海部郡海陽町小川, 1 ♀, 8.XI.2023, LT, ST leg. 寄主: すべてニガキ科のニワウルシ *Ailanthus altissima* (Mill.) Swingle

北海道, 本州, 四国(全県), 九州, 対馬に分布し, 寄主の移入に伴って国内に侵入し拡散している(片岡, 2017; 岸田, 2011b; 小島ほか, 1964; 真鍋, 2007; 2016; 高八, 1999; 内田, 2024). 県内では松茂町, 塩塚高原などで得られている(佐野・高八, 1998; 内田, 2024). 道路沿いのニワウルシの樹幹と周辺で多くの幼虫と蛹が, 林内での灯火採集とスーパーマーケットの街灯で成虫が得られた。

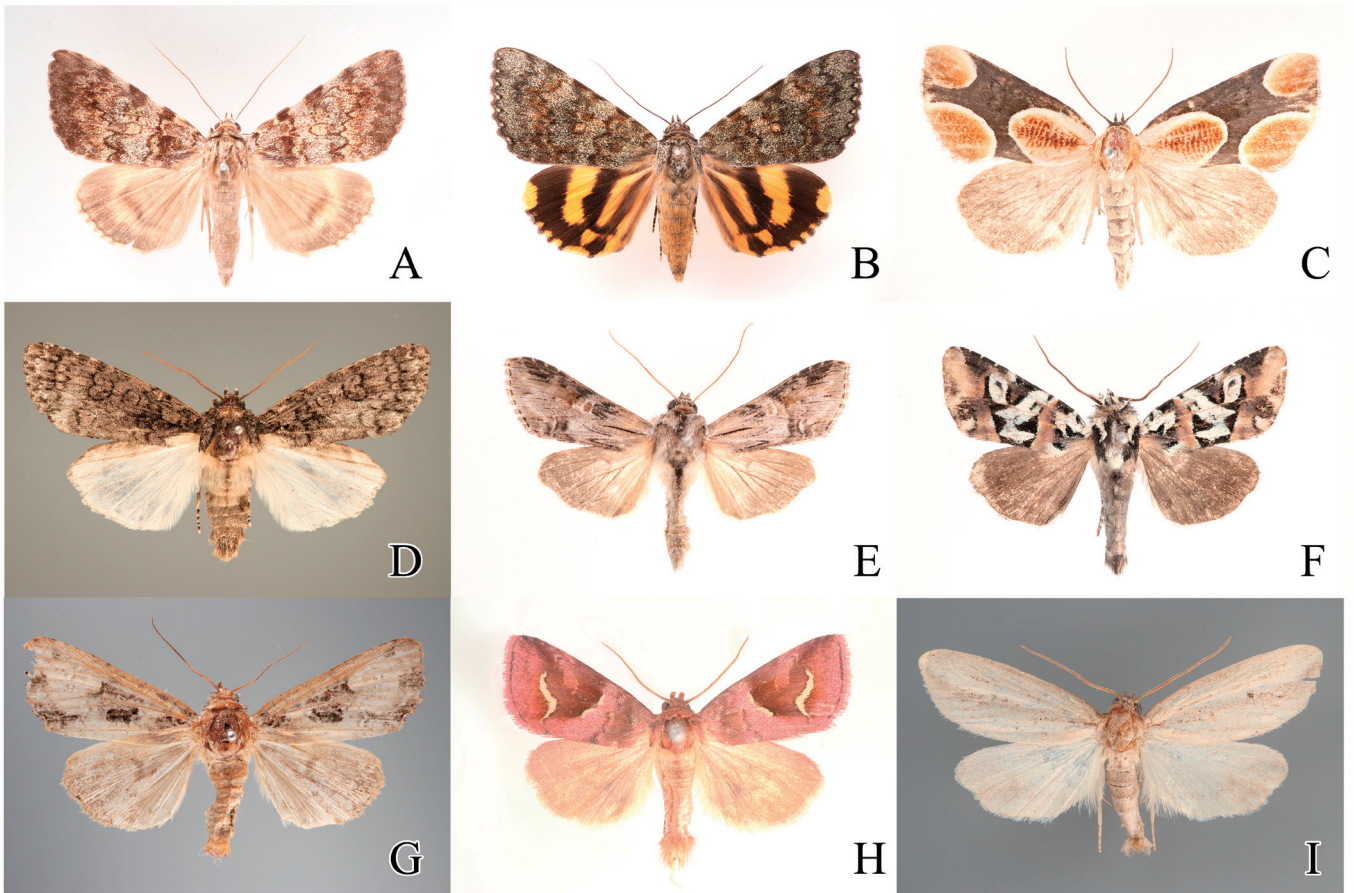


Fig. 4. Moths collected from Tokushima Prefecture. A: *Catocala tokui tokui* ヤクシマヒメキシタバ日本亜種; B: *Catocala kuangtungensis sugii* クロシオキシタバ日本亜種; C: *Cymatophoropsis unca* ホソバミツモンケンモン; D: *Acronicta (Hylomycta) carbonaria* ウズミケンモン; E: *Cucullia perforate* セダカモクメ; F: *Chandata bella* コゴマヨトウ; G: *Leucapamea kawadai* マエアカシロヨトウ; H: *Plusilla rosalia* ギンモンアカヨトウ; I: *Acrapex azumai* チビウスキヨトウ.

Noctuidae ヤガ科

Hypeninae アツバ亜科

31. *Anoratha paritalis* (Walker, 1858) ミナミトガリアツバ  
徳島県初記録

海部郡海陽町小川, 1♂, 8.XI.2023, LT, ST leg. (Fig. 3-G)  
東南アジアにひろく分布し, 九州の鹿児島県で2011年以降に得られた3個体に基づいて日本から初記録された(福田・中尾, 2019). その後, 高知県, 熊本県でも採集されている(福藪, 2022; 高橋, 2025). 渓谷沿いの照葉樹林内での灯火採集で得られた(Fig. 7-M). 九州では土着と考えられており(福田・中尾, 2019), 四国での定着状況を注視する必要がある. 寄主は不明.

32. *Hypena claripennis* (Butler, 1878) キシタバツバ

徳島市八万町上福万, 2♂, 15.IV.2024, ST leg. (Fig. 3-H)  
北海道, 本州, 四国(愛媛県, 高知県), 九州, 対馬に分布し, 寄主はイラクサ科のヤブマオ *Boehmeria japonica* (L.f.) Miq. (片岡, 2017; 岸田, 2011b; 小島ほか, 1964; 真鍋, 2012a; 櫻井, 2015). インターネット上には牟岐町

の撮影記録がある(虫撮りデジカメ日記, 2025). 眉山麓の谷戸の小川沿いのヤブマオ群落で昼間に多数が確認された. 宅地開発による平地の草地環境の悪化によって減少しており, 環境省レッドリストの準絶滅危惧に選定されている(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2015).

Catocalinae シタバガ亜科

Catocalini シタバガ族

33. *Catocala separans* Leech, [1889] フシキキシタバ

板野郡上板町泉谷, 1♀, 22.VI.2023, LT, ST leg. (Fig. 3-I); 徳島市大原町日峰山, 1♀, 2.VII.2023, LT, ST leg.

詳細は外村・樋口(2026)を参照. 各地の林縁での灯火採集で得られた(Fig. 7-N). 県内では少なくないと思われる.

34. *Catocala streckeri* Staudinger, 1888 アサマキシタバ

徳島市佐古山町眉山, 1♂, 20.V.2023, LT, ST leg.

35. *Catocala nubila* Butler, 1881 ゴマシオキシタバ

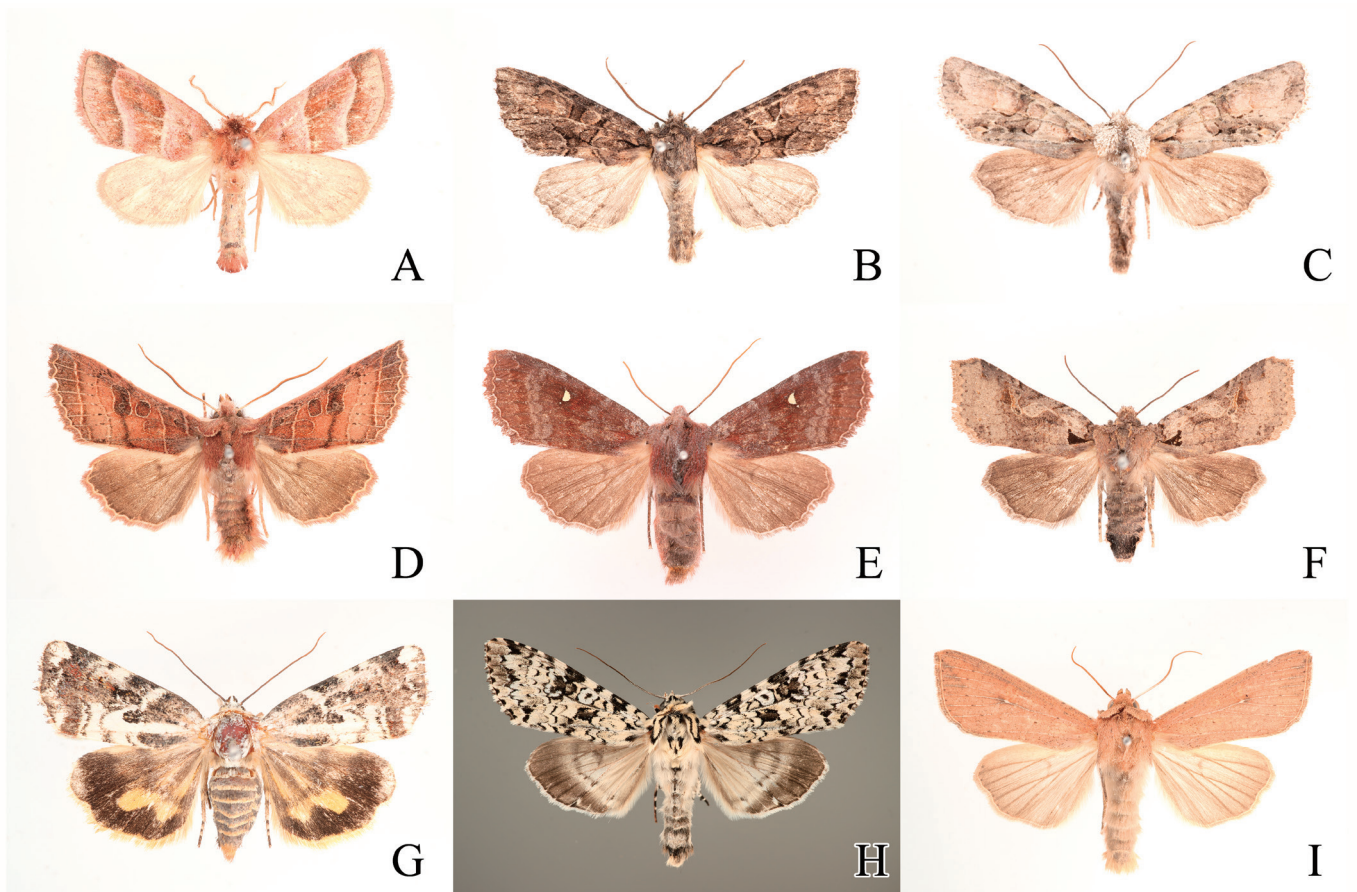


Fig. 5. Moths collected from Tokushima Prefecture. A: *Virgo confusa* ニセトガリヨトウ ; B: *Dryobotodes angusta angusta* ホソバオビキリガ日本亜種 ; C: *Lithophane nagaii* コケイロホソキリガ ; D: *Elwesia sugii sugii* サヌキキリガ日本亜種 ; E: *Eupsilia unipuncta* ムラサキミツボシキリガ ; F: *Mesorhynchaglaea pacifica* ヤクシマキリガ ; G: *Dimorphicosmia variegata* マダラキボシキリガ ; H: *Polia goliath* オオシモフリヨトウ ; I: *Mythimna (Pseudaletia) pallidicosta pallidicosta* マエジロアカフキヨトウ日本亜種 .

三好市東祖谷見ノ越, 1 ♂, 4.VIII.2025,LT, ST leg.

**36. *Catocala hyperconnexa* Sugi, 1965 アミメキシタバ**

徳島市大原町日峰山, 1 ♀, 2.VII.2023,LT, ST leg.; 海部郡美波町伊座利, 1 ♀, 9.VII.2023,LT, ST leg.

**37. *Catocala patala* Felder & Rogenhofner, 1874 キシタバ**

板野郡上板町泉谷, 1 ♀, 22.VI.2023,LT, ST leg.; 徳島市大原町日峰山, 1 ♀, 2.VII.2023,LT, ST leg.; 海部郡美波町伊座利, 1 ♂, 9.VII.2023,LT, ST leg.

**38. *Catocala tokui tokui* Sugi, 1976 ヤクシマヒメキシタバ 日本亜種**

徳島市八万町向寺山, 1 ♀, 27.VI.2025, ST leg. (Fig. 4-A)  
本州 (兵庫県, 三重県, 奈良県, 和歌山県), 四国 (徳島県, 高知県), 九州 (大分県, 宮崎県, 鹿児島県), 対馬, 屋久島に局地的に分布する少ない種で (石塚, 2011; 岸田, 2011b; 野崎, 2018; 坪田, 2018), 県内では 1985 年に海陽町 (当時の海南町) で 2 ♂ の記録があるが, 生息密度は非常に低いとされる (増井, 2012; 布施, 1986). そのほか, 阿南市にも分布するという (西尾, 2007). 高知県西

南部では多数が得られている (真鍋, 2003; 2007). 飼育下の寄主としてブナ科のウバメガシ *Quercus phillyraeoides* A.Gray とクヌギ *Q. acutissima* Carruth., 野外で樹幹への産卵行動の観察例としてアカガシ *Q. acuta* Thunb. が知られる (小林, 2024; 西尾, 1998). 文化の森総合公園の芝生の広場の, 街灯のあるトイレ壁面に正午ごろに静止していた所を採集された (Fig. 7-O). 周囲はブナ科のアラカシ *Q. glauca* Thunb. などの照葉樹が主体の低標高の二次林で, アカガシはなく, ウバメガシはごく少なく, クヌギの植栽は多い. 当地ではクヌギのほか, 小林 (2024) で示唆されているように様々な常緑カシ類を利用している可能性がある. 降雨のあるような空中湿度の高い夜によく活動するとされ (石塚, 2011), 採集日の前日夜も霧雨~小雨が降っていたことから, 前日夜に街灯に飛来したものと思われる.

**39. *Catocala intacta intacta* Leech, [1889] ウスイロキシタバ日本亜種**

徳島市大原町日峰山, 2 ♂, 7.VI.2023,LT, ST leg.

**40. *Catocala praeagnax obliterated* Ménétrières, 1864 コガタキ**

**シタバ日本亜種**

海部郡牟岐町灘, 1 ♀, 25.VI.2023,LT, ST leg.

**41. *Catocala kuangtungensis sugii* Ishizuka, 2002 クロシオキシタバ日本亜種**

海部郡美波町伊座利, 1 ♂ 2 ♀, 9. VII. 2023,LT, ST leg. (Fig. 4-B)

本州 (静岡県以西), 四国 (全県), 九州, 屋久島に分布し, 県内では剣山林道などで記録がある (石塚, 2011; 川島, 2017c; 岸田, 2011b; 坂口, 1972). 寄主はブナ科のウバメガシ *Quercus phillyraeoides* A.Gray で, 遠距離を移動することが示唆されており (岸田, 2011b), 寄主のない剣山などでも飛来することがある. 採集地は海岸沿いのウバメガシが主体の照葉樹林で, 灯火採集で得られた (Fig. 7-P).

**Plusiinae キンウワバ亜科**

**Abrostolini マダラウワバ族**

**42. *Abrostola triplasia* (Linnaeus, 1758) イラクサマダラウワバ**

徳島市吉野川運動広場, 1 ♂, 30.V.2024, YS leg.

**Acronictinae ケンモンヤガ亜科**

**43. *Cymatophoropsis unca* (Houlbert, 1921) ホソバミツモンケンモン**

那賀郡那賀町高の瀬峡, 3 ♀, 13.VI.2025,LT, ST leg. (Fig. 4-C)

本州 (中国地方), 四国 (徳島県, 愛媛県, 高知県), 九州に分布し (片岡, 2017; 岸田, 2011b; 真鍋, 2019), 県内では那賀町高の瀬峡, 平谷, 西三子山で記録がある (川島, 2017d; 真鍋, 2019; 杉・朴, 1970). 石灰岩帯の渓谷沿いでの灯火採集で得られた (Figs. 7-Q, R). 寄主としてクロウメモドキ科のネコノチチ *Rhamnella franguloides* (Maxim.) Weberb. が知られる (林, 2008) が, 県内では未確認 (阿部, 1990). 石灰岩帯に局限される分布様式から, 近縁の石灰岩帯性植物で県の絶滅危惧 IB 類に選定されているキビノクロウメモドキ *Rhamnus yoshinoi* Makino や準絶滅危惧のヨコグラノキ *Berchemia berchemiaefolia* (Makino) Koidz. (徳島県, 2014) が寄主であることが示唆される.

**44. *Acronicta (Hylonycta) carbonaria* (Graeser, 1889) ウズミケンモン 徳島県初記録**

徳島市眉山町茂助ヶ原, 1 ♂, 10.IV.2024,LT, ST leg. (Fig. 4-D); 徳島市佐古山町眉山, 1 ♀, 24.IV.2024,LT, ST leg.

本州, 四国 (香川県, 愛媛県), 九州に分布し, 局地的で稀とされる (片岡, 2017; 岸田, 2011b; 坂口, 1972). 寄主としてブナ科のクヌギ *Quercus acutissima* Carruth. が知

られる (岸田, 2011b). 雑木林の林内の道路沿いでの灯火採集で得られた (Fig. 7-S). 雑木林の伐採によって減少しており, 環境省レッドリストの準絶滅危惧に選定されている (環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2015).

**Cuculliinae セダカモクメ亜科**

**45. *Cucullia perforata* Bremer, 1861 セダカモクメ**

三好市山城町塩塚高原, 1 ♂, 6.IX.2025,LT, ST leg. (Fig. 4-E)

北海道, 本州, 四国 (全県), 九州, 対馬に分布し, 本県にまたがって広がる塩塚高原 (愛媛県側) のほか, 那賀町坂州で記録がある (片岡, 2017; 岸田, 2011b; 小谷, 1962; 小島ほか, 1964; 増井, 1979). 草原性の種で, キク科のユウガギク *Aster iinumae* Kitam., アキノキリンソウ *Solidago virgaurea* L. を寄主とする (岸田, 2011b). 野焼き草原である塩塚高原での灯火採集で得られた.

**Psaphidinae モクメキリガ亜科**

**Psaphidini モクメキリガ族**

**46. *Meganephria extensa* (Butler, 1879) ミドリハガタヨトウ**

徳島市八万町向寺山, 2 ♂ 1 ♀, 17.XII.2023, ST leg.; 海部郡海陽町小川, 1 ♀, 8.XI.2023,LT, ST leg.

**47. *Daseochaeta viridis* (Leech, [1889]) ケンモンミドリキリガ**

徳島市八万町向寺山, 1 ♂, 9.XI.2023, ST leg.; 2 ♂, 17.XI.2023, ST leg.; 1 ♂, 21.XI.2023, sugar bait, ST leg.

**Xyleninae キリガ亜科**

**Phlogophorini アカガネヨトウ族**

**48. *Chandata bella* (Butler, 1881) コゴマヨトウ 徳島県初記録**

三好市東祖谷見ノ越, 1 ♂, 4.VIII.2025,LT, ST leg. (Fig. 4-F)

北海道, 北方領土, 本州, 四国 (香川県, 愛媛県, 高知県), 九州に分布 (片岡, 2017; 岸田, 2011b; 増井, 1977; 中山, 1984). 寄主はカヤツリグサ科のスゲ類 (岸田, 2011b). 剣山登山口付近, 標高 1,380 m での灯火採集で得られた. 四国における本種の記録はいずれも高標高地である.

**Apameini カドモンヨトウ族**

**Apameina カドモンヨトウ亜族**

**49. *Leucapamea kawadai* (Sugi, 1955) マエアカシロヨトウ 徳島県初記録**

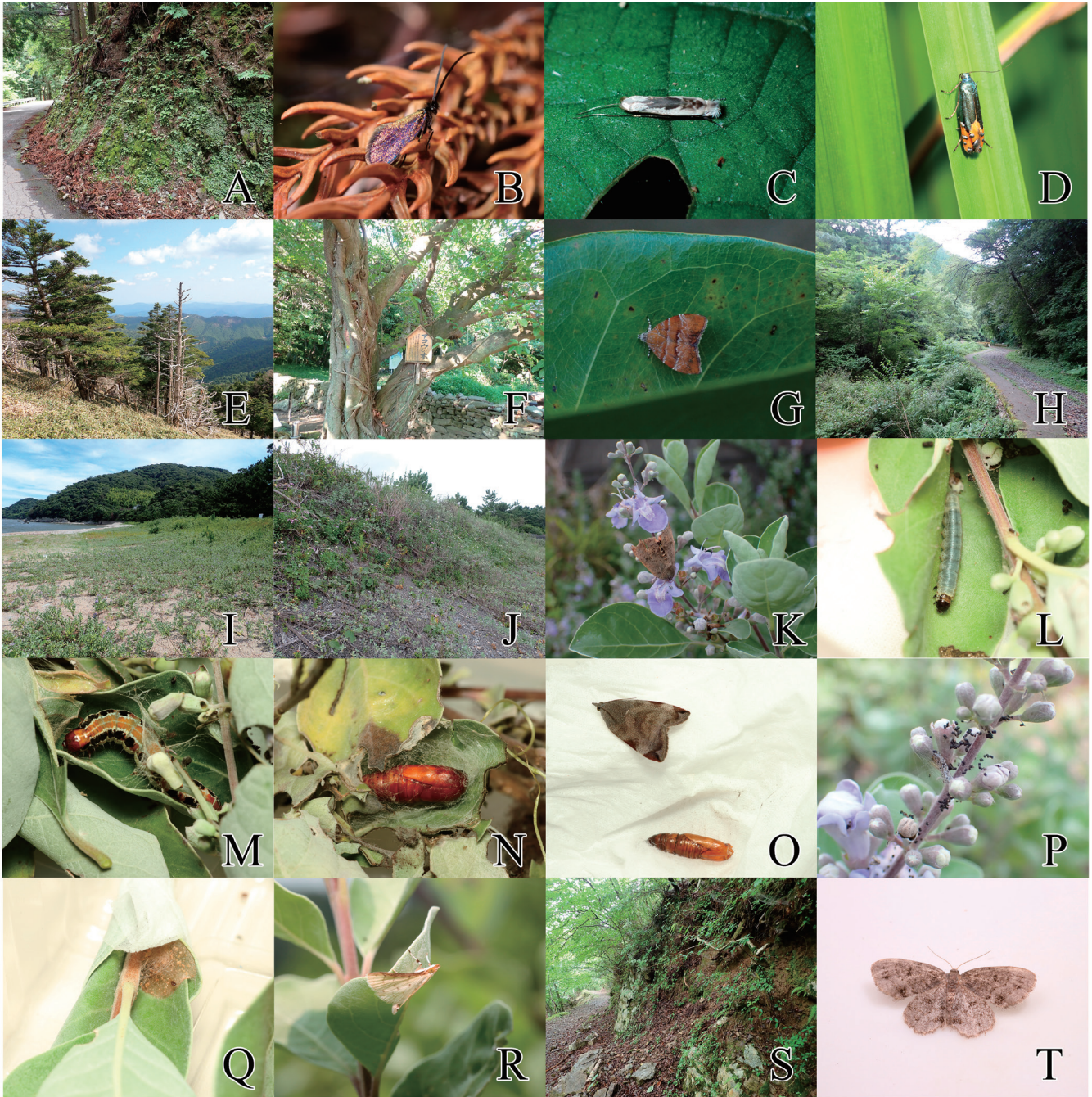


Fig. 6. Habitus of moths and landscapes of collection sites. A: habitat of *Neomicropteryx elongata* (Kawakami, Koyadaira); B: adult of *N. elongata*; C: adult of *Agriothera elaeocarpophaga*; D: adult of *Lepidotarpius perornatellus*; E: habitat of *Epinotia piceae piceae* (Mt. Tsurugi-san); F: habitat of *Choreutis achyrodes* (Benten-yama, Kanaiso-cho); G: adult of *C. achyrodes*; H: habitat of *Corsocasis coronias* (Todorokinotaki); I: habitat of *Hyblaea puera* and *Aglaops albipennis* (Ômiko-Beach); J: habitat of *H. puera* and *A. albipennis* (river mouth of Kaifu-River); K: adult of *H. puera* sucking flower of *Vitex rotundifolia*; L: immature larva of *H. puera*; M: mature larva of *H. puera*; N: pupa of *H. puera*; O: emerged adult of *H. puera*; P: larva of *A. albipennis*; Q: pupa of *A. albipennis*; R: adult of *A. albipennis*; S: habitat of *Dischidesia kurokoi* (Mt. Takamaru-yama); T: adult of *D. kurokoi*.

美馬市脇町拝原, 1 ♀, 25.IX.2025,LT, ST leg. (Fig. 4-G)  
北海道, 本州, 四国に分布し, 寄主は不明 (岸田, 2011b). 都市部など平地で見られる (尾藤, 1990) が, 多くない. 池を伴う河川敷での灯火採集で得られた (Fig. 7-T).

**50. *Plusilla rosalia* Staudinger, 1892 ギンモンアカヨトウ 徳島県初記録**

美馬市脇町拝原, 1 ♂ 1 ♀, 25.IX.2025,LT, ST leg. (Fig. 4-H)

北海道, 本州, 四国 (香川県), 九州に分布し, 寄主は

タデ科のヤナギタデ *Persicaria hydropiper* (L.) Delarbre (岸田, 2011b; 坂口, 1972). 低湿地や河川敷, 火山性草原などの草原に分布するが, 比較的少ない(岸田, 2011b). 池を伴う河川敷での灯火採集で得られ, 付近にはヤナギタデも見られた (Figs. 8-A, B). 生息環境の開発によって減少しており, 環境省レッドリストの絶滅危惧II類に選定されている(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2015).

#### Sesamiina テンオビヨトウ亜族

##### 51. *Acrapex azumai* (Sugi, 1970) チビウスキヨトウ 徳島県初記録

鳴門市北灘町折野, 1♂, 4.VI.2023,LT, ST leg. (Fig. 4-I) 本州(島根県, 千葉県, 東京都, 兵庫県, 山口県), 四国(香川県, 高知県), 九州(福岡県, 鹿児島県)の沿岸部, 対馬, 屋久島, 南西諸島に分布し, 寄主は不明(神保ほか, 2019; 岸田, 2011b; 間野, 2021; 大貝, 2013; 坂口, 1972). 沿岸に近い山地の中腹の, 二次林で囲まれた荒地での灯火採集で得られた (Fig. 8-C).

##### 52. *Virgo confusa* Kishida & Yoshimoto, 1991 ニセトガリヨトウ 四国初記録

三好市山城町塩塚高原, 4♂, 6.IX.2025,LT, ST leg. (Fig. 5-A)

北海道, 本州, 九州に分布し, 寄主は不明(福田, 2019; 岸田, 2011b). トガリヨトウ *V. datanidia* と前翅の斑紋が酷似しており, 確実な同定には交尾器の検鏡が必要である(岸田, 2011b). オス交尾器では, *juxta* の側方が楕円状に突出せず, *phallus* 先端の *cornuti* の基部が狭く, かぎ状に湾曲する点で識別される (Fig. 9-C; 岸田・吉本, 1991). トガリヨトウは四国全県に分布が確認され, 本種が得られた塩塚高原(愛媛県側)のほか, 県内では桑平, 日和田で記録がある(片岡, 2017; 岸田, 2011b; 小島ほか, 1964; 真鍋, 2019; 増井, 1979)が, 県内で本種が得られたことから, 四国における過去の記録は再検討される必要がある. 野焼き草原である塩塚高原での灯火採集で得られた (Fig. 8-D). ススキ草原に生息し, 草原の管理放棄による生息適地の減少によって環境省レッドリストの準絶滅危惧に近年新たに選定されている(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2020).

#### Xylenini キリガ族

##### Xylenina キリガ亜族

##### 53. *Dryobotodes intermissa* (Butler, 1886) ナカオビキリガ

徳島市八万町向寺山, 1♂1♀, 21.XI.2023,sugar bait, ST leg.; 海部郡海陽町小川, 2♀, 8.XI.2023,sugar bait, ST

leg.

##### 54. *Dryobotodes angusta angusta* Sugi, 1980 ホソバオビキリガ日本亜種

徳島市八万町向寺山, 1♀, 21.XI.2023,sugar bait, ST leg. (Fig. 5-B)

詳細は外村・樋口(2026)を参照. 文化の森総合公園内での糖蜜トラップで得られた (Fig. 8-E).

##### 55. *Xylena nihonica* Hōne, 1917 ハネナガモクメキリガ

徳島市眉山町茂助ヶ原, 1♀, 26.XII.2023,sugar bait, ST leg.; 徳島市西富田町, 1♂, 24.II.2024,sugar bait, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1♀, 25.I.2024, ST leg.; 海部郡美波町伊座利, 1♂1♀, 10.II.2024,LT, ST leg.

##### 56. *Xylena changi* Horie, 1993 ヒロバモクメキリガ

徳島市眉山町大滝山, 1♂, 27.I.2024,LT, ST leg.; 徳島市西富田町, 1♂, 24.II.2024,LT, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1♂, 14.II.2024, ST leg.; 海部郡海陽町穴喰浦古目, 1♂, 27.I.2024,LT, ST leg.

##### 57. *Xylena formosa* (Butler, 1878) キバラモクメキリガ

徳島市八万町向寺山, 1♀, 21.XI.2023,sugar bait, ST leg.

##### 58. *Lithophane pruinosa* (Butler, 1878) カシワキボシキリガ

徳島市眉山町茂助ヶ原, 2♀, 26.XII.2023,sugar bait, ST leg.

##### 59. *Lithophane nagaii* Sugi, 1958 コケイロホソキリガ 徳島県初記録

つるぎ町一字葛籠, 1♂1♀, 5.IV.2025,LT, ST leg. (Fig. 5-C)

本州(新潟県以西), 四国(愛媛県, 高知県), 九州, 屋久島に局地的に分布し, 飼育下での寄主はツバキ科のナツツバキ *Stewartia pseudocamellia* Maxim. とヒメシヤラ *S. monadelphina* Siebold et Zucc. (片岡, 2017; 岸田, 2011b; 小林, 2016; 小島ほか, 1964; 真鍋, 1999a; 1999b; 1999c). 剣山のウラジロモミ林での灯火採集で得られ (Fig. 8-F), 周辺にはナツツバキも見られた.

##### 60. *Elwesia sugii sugii* Yoshimoto, 1994 サヌキキリガ日本亜種

名西郡石井町浦庄, 1♂, 30.XI.2024,sugar bait, ST leg.; 徳島市眉山町大滝山, 1♀, 27.I.2024,sugar bait, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1♂, 30.XI.2023, ST leg.; 海部郡海陽町小川, 1♂, 8.XI.2023,sugar bait, ST leg. (Fig. 5-D)

本州(房総半島以西の太平洋岸, 瀬戸内海沿い), 四国(香川県, 愛媛県, 高知県), 九州, 対馬の照葉樹林に非常に局所的に分布し, 寄主は不明(片岡, 2017; 岸田, 2011b; 小林, 2016; 真鍋, 2007; 中越, 1999). インターネット上には徳島市の撮影記録がある(虫撮りデジカメ日

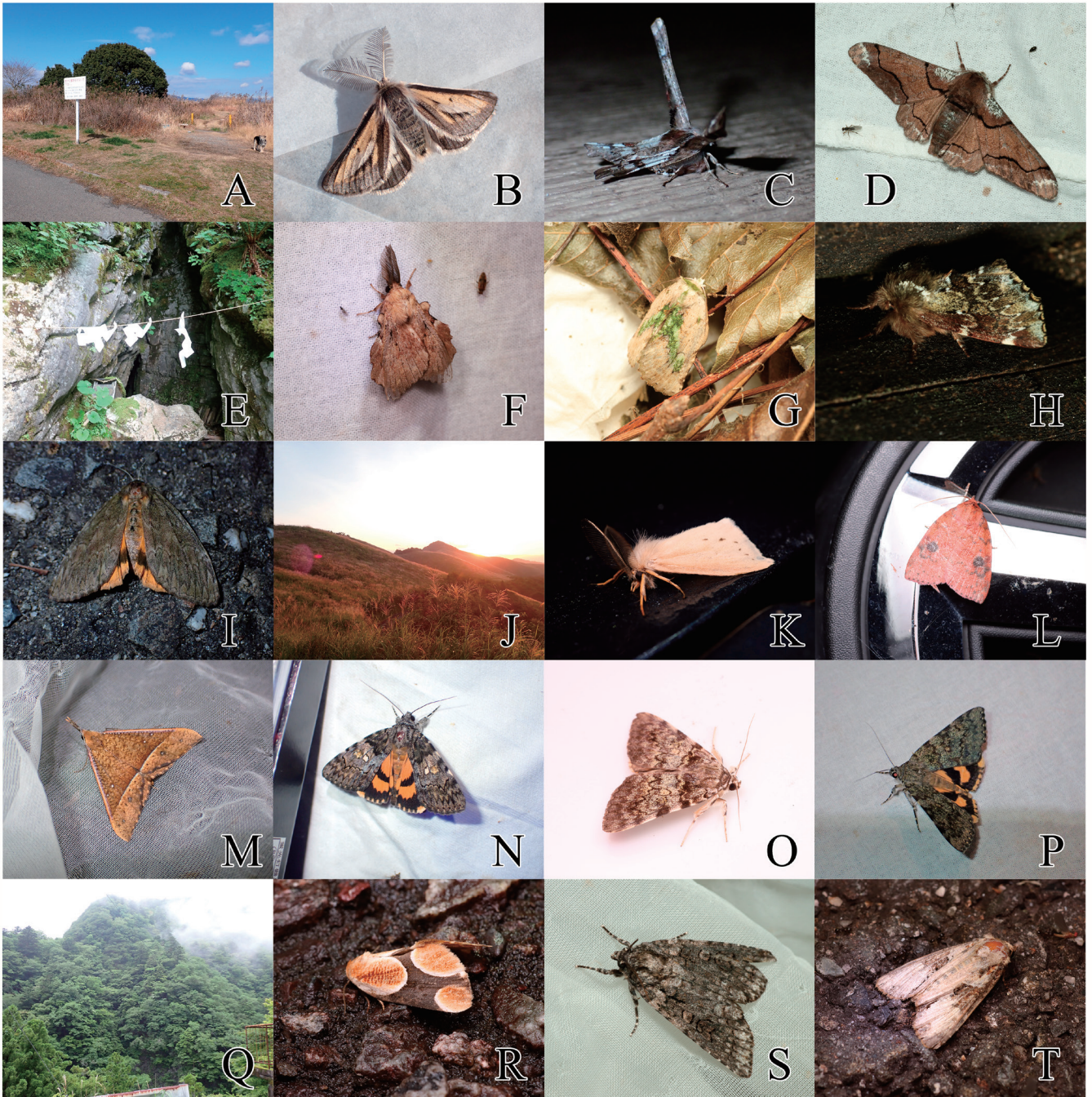


Fig. 7. Habitus of moths and landscapes of collection sites. A: habitat of *Nyssiodes lefuarius* (river side of Yoshinogawa-River); B: adult of *N. lefuarius*; C: adult of *Apochima excavata*; D: adult of *Biston takeuchii*; E: habitat of *Triphosa sericata sericata* (Fudōnoiwaya-Cave); F: adult of *Takanea excisa japonensis*; G: emerged adult of *Platyhasma virgo*; H: adult of *Odontosia sieversii japonibia*; I: adult of *Ilema (Cadrusia) nachiensis*; J: habitat of *Laelia coenosa sangaica* (Shiozuka-Kōgen); K: adult of *L. c. sangaica*; L: adult of *Gelastocera rubicundula*; M: adult of *Anoratha paritalis*; N: adults of *Catocala separans*; O: adult of *Catocala tokui tokui*; P: adults of *Catocala kuangtungensis sugii*; Q: habitat of *Cymatophoropsis unca* (Kōnosekyō-Gorge); R: adult of *C. unca*; S: adult of *Acronicta (Hylonycta) carbonaria*; T: adult of *Leucapamea kawadai*.

記, 2025). 常緑カシ類を主体とする照葉樹林もしくは雑木林での糖蜜トラップで得られた (Fig. 8-G) ほか, 向寺山 (文化の森総合公園) ではツバキ科のサザンカ *Camellia sasanqua* Thunb. に訪花していた個体を得られた。従来の発生時期は 11 ~ 12 月だが 2 月に得られた事例があり, 暖

地では成虫で長く生存できることが示唆されている (田島, 2024)。当県でも 1 月下旬に得られており, 同様の事例と考えられる。

**61. *Eupsilia tripunctata* Butler, 1878 ミツボシキリガ**

徳島市眉山町大滝山, 1 ♀, 27.I.2024, sugar bait, ST leg. ;

海部郡美波町伊座利, 1 ♀, 10.II.2024,sugar bait, ST leg.

**62. *Eupsilia unipuncta* Scriba, 1919 ムラサキミツボシキリガ 徳島県初記録**

那賀郡那賀町沢谷, 1 ♀, 7.XII.2023,sugar bait, ST leg. (Fig. 5-E)

本州, 四国(愛媛県, 高知県), 九州にやや局地的に分布し, 寄主は不明(片岡, 2017; 岸田, 2011b; 川島, 2017c; 真鍋, 1999a; 沼口, 1980). 雲早山周辺の落葉広葉樹林での糖蜜トラップで得られた(Fig. 8-H).

**63. *Eupsilia quadrilinea* (Leech, [1889]) ヨスジノコメキリガ**

徳島市眉山町茂助ヶ原, 1 ♂, 26.XII.2023,sugar bait, ST leg.; 1 ♀, 23.III.2024,LT, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1 ♀, 18.XII.2023, ST leg.

**64. *Rhynchaglaea scitula* (Butler, 1879) チャマダラキリガ**

徳島市眉山町茂助ヶ原, 2 ♂ 6 ♀, 26.XII.2023,sugar bait, ST leg.; 徳島市眉山町大滝山, 1 ♀, 27.I.2024,sugar bait, ST leg.; 徳島市西富田町, 1 ♂, 24.II.2024,sugar bait, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1 ♀, 14.III.2024, ST leg.; 徳島市大原町日峰山, 1 ♀, 9.III.2024,sugar bait, ST leg.; 海部郡美波町伊座利, 1 ♂ 2 ♀, 10.II.2024,sugar bait, ST leg.; 海陽町穴喰浦古目, 2 ♀, 25.XII.2023,sugar bait, ST leg.

**65. *Rhynchaglaea fuscipennis* Sugi, 1958 クロチャマダラキリガ**

徳島市眉山町茂助ヶ原, 1 ♀, 26.XII.2023,sugar bait, ST leg.; 徳島市西富田町, 1 ♀, 24.II.2024,sugar bait, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 2 ♀, 18.XII.2023, ST leg.; 1 ♀, 24.XII.2023, ST leg.; 佐那河内村杖立山, 1 ♂, 6.IV.2024,LT, ST leg.; 海部郡美波町伊座利, 2 ♀, 10.II.2024,LT, ST leg.

**66. *Mesorhynchaglaea pacifica* Sugi, 1980 ヤクシマキリガ**

徳島市西富田町, 2 ♀, 24.II.2024,sugar bait, ST leg.; 1 ♂ 1 ♀, 24.II.2024, LT, ST leg.; 1 ♀, 22.III.2025,LT, ST leg.; 徳島市大原町日峰山, 1 ♀, 9.III.2024,sugar bait, ST leg.; 海部郡美波町伊座利, 5 ♂ 7 ♀, 10.II.2024,sugar bait, ST leg. (Fig. 5-F); 海陽町穴喰浦古目, 1 ♀, 12.I.2025,LT, ST leg.

本州(房総半島, 伊豆半島以西の太平洋岸, 瀬戸内海沿岸), 四国(香川県, 小豆島, 愛媛県, 高知県), 九州, 屋久島に分布(片岡, 2017; 川島, 2017d; 岸田, 2011b; 増井, 1978a; 1980). 寄主はブナ科のウバメガシ *Quercus phillyraeoides* A.Gray で, 寄主のある照葉樹林に生息する(小林, 2016). インターネット上には徳島市の撮影記録がある(虫撮りデジカメ日記, 2025). 各地のウバメガシが自生する照葉樹林や雑木林で糖蜜トラップと灯火採集の両

方で得られたほか, ツバキ科のサザンカ *Camellia sasanqua* Thunb. への訪花も観察された(Figs. 8-I, J). 生息地での個体数は多い.

**67. *Teratoglaea pacifica* Sugi, 1958 エグリキリガ**

つるぎ町一字葛籠, 1 ♂, 20.IV.2024,LT, ST leg.

**68. *Sugitania lepida* (Butler, 1879) スギタニモンキリガ**

徳島市眉山町茂助ヶ原, 1 ♂ 2 ♀, 26.XII.2023,sugar bait, ST leg.; 徳島市眉山町大滝山, 1 ♀, 27.I.2024,sugar bait, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1 ♀, 24.XII.2023, ST leg.; 海部郡美波町伊座利, 2 ♂ 1 ♀, 10.II.2024,sugar bait, ST leg.

**69. *Sugitania clara* Sugi, 1990 ヤマノモンキリガ**

那賀郡那賀町沢谷, 3 ♀, 7.XII.2023,sugar bait, ST leg.

**70. *Agrocholorta nawae* Matsumura, 1926 ナワキリガ**

徳島市眉山町茂助ヶ原, 4 ♀, 26.XII.2023,sugar bait 徳島市大原町日峰山, 1 ♂, 9.III.2024,sugar bait, ST leg.

**71. *Telorta acuminata* (Butler, 1878) ウスキトガリキリガ**

徳島市八万町大坪, 1 ♂, 19.XI.2023, ST leg.

**72. *Telorta edentata* (Leech, [1889]) キトガリキリガ**

徳島市佐古山町眉山, 1 ♀, 13.XI.2023,sugar bait, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1 ♂, 21.XI.2023,sugar bait, ST leg.; 那賀郡那賀町沢谷, 1 ♂, 7.XII.2023,LT, ST leg.; 2 ♀, 7.XII.2023,sugar bait, ST leg.

**73. *Telorta divergens* (Butler, 1879) ノコメトガリキリガ**

徳島市眉山町茂助ヶ原, 1 ♂, 26.XII.2023,sugar bait, ST leg.; 徳島市眉山町大滝山, 1 ♀, 27.I.2024,sugar bait, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1 ♀, 16.XI.2023, ST leg.; 海部郡美波町伊座利, 1 ♂, 10.II.2024,sugar bait, ST leg.

**74. *Antivaleria viridimacula* (Graeser, 1889) アオバハガタヨトウ**

那賀郡那賀町沢谷, 2 ♀, 7.XII.2023,sugar bait, ST leg.; 海部郡海陽町小川, 1 ♀, 8.XI.2023,sugar bait, ST leg.

**75. *Nyctycia strigidisca owadai* (Yoshimoto, 1988) ヒマラヤハガタヨトウ日本亜種**

海部郡海陽町小川, 1 ♀, 8.XI.2023,LT, ST leg.

**76. *Nyctycia hoenei hoenei* (Boursin, 1958) ヘーネアオハガタヨトウ日本亜種**

徳島市眉山町大滝山, 2 ♀, 27.I.2024,LT, ST leg.; 徳島市八万町大坪, 1 ♀, 19.XI.2023, ST leg.; 徳島市八万町向寺山, 1 ♀, 17.XII.2023, ST leg.; 海陽町穴喰浦古目, 1 ♂ 1 ♀, 25.XII.2023,sugar bait, ST leg.

**Cosmiina コスミア亜族**

**77. *Dimorphicosmia variegata* (Oberthür, 1879) マダラキボシキリガ**

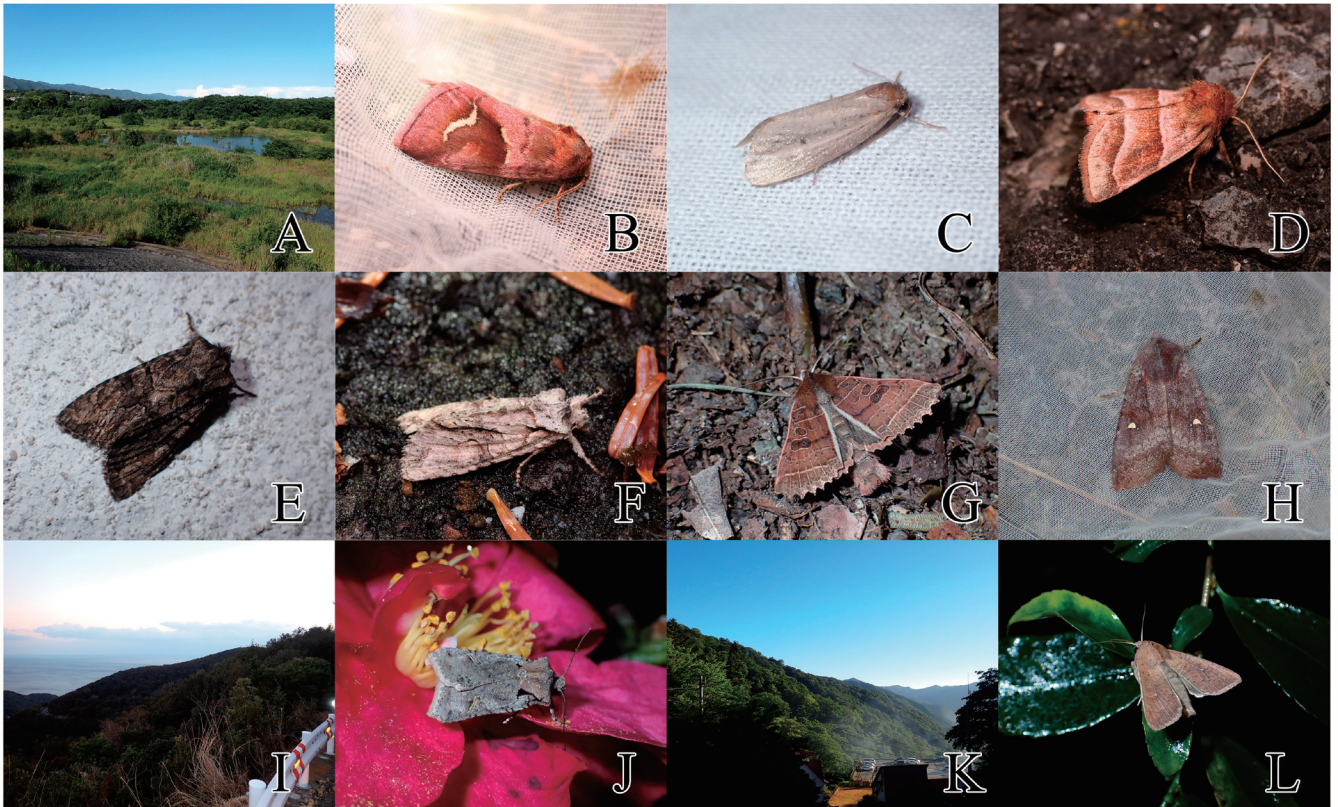


Fig. 8. Habitus of moths and landscapes of collection sites. A: habitat of *Plusilla rosalia* (Haibara); B: adult of *P. rosalia*; C: adult of *Acrapex azumai*; D: adult of *Virgo confusa*; E: adult of *Dryobotodes angusta angusta*; F: adult of *Lithophane nagaii*; G: adult of *Elwesia sugii sugii*; H: adult of *Eupsilia unipuncta*; I: habitat of *Mesorhynchaglaea pacifica* (Izari); J: adult of *M. pacifica* sucking flower of *Camellia sasanqua*; K: habitat of *Dimorphicosmia variegata* and *Polia goliath* (Mt. Tsurugi-san); L: adult of *Mythimna (Pseudaletia) pallidicosta pallidicosta*.

三好市東祖谷見ノ越, 1♂ 1♀, 4.VIII.2025, LT, ST leg. (Fig. 5–G)

北海道, 本州, 四国 (徳島県, 愛媛県, 高知県), 九州に分布し, 県内では剣山周辺でのみ記録がある (赤枝, 1970, 1972; 片岡, 2017; 川島, 2017d; 岸田, 2011b; 真鍋, 2007; 清水, 1999). 寄主はアオイ科のシナノキ *Tilia japonica* (Miq.) Simonk. (岸田, 2011b) で, 四国では寄主の多い高標高地に生息する. 剣山登山口付近, 標高 1,380 m での灯火採集で得られた (Fig. 8–K).

#### Hadeninae ヨトウガ亜科

##### Orthosiini オルトシア族

#### 78. *Xylopolia bella bella* (Butler, 1881) クロスジキリガ屋久島以北亜種

徳島市眉山町茂助ヶ原, 1♂ 2♀, 10.IV.2024, LT, ST leg.; 佐那河内村杖立山, 1♂, 6.IV.2024, LT, ST leg.

#### 79. *Perigrapha (Perigrapha) hoenei* Püngeler, 1914 スギタニキリガ

徳島市眉山町茂助ヶ原, 1♀, 23.III.2024, LT, ST leg.; 佐那河内村杖立山, 1♂, 6.IV.2024, LT, ST leg.

#### 80. *Orthosia limbata limbata* (Butler, 1879) シロヘリキリガ日本亜種

徳島市西富田町, 4♂, 24.II.2024, 1 sugar bait 3 LT, ST leg.

#### Hadenini ヨトウガ族

#### 81. *Polia goliath* (Oberthür, 1880) オオシモフリヨトウ

三好市東祖谷見ノ越, 1♂, 4.VIII.2025, LT, ST leg. (Fig. 5–H)

北海道, 本州, 四国 (徳島県, 愛媛県, 高知県), 九州に分布し (石原ほか, 1953; 片岡, 2017; 岸田, 2011b; 小島ほか, 1964; 四国産蛾類図鑑, 2025; 清水, 1997), 県内では剣山でのみ記録がある (赤枝, 1972; 永井・富永, 1971). 寄主としてブナ科, バラ科, ヤナギ科が知られる (岸田, 2011b). 剣山登山口付近, 標高 1,380 m での灯火採集で得られた (Fig. 8–K).

#### Leucanini キヨトウ族

#### 82. *Mythimna (Pseudaletia) pallidicosta pallidicosta* (Hampson, 1894) マエジロアカフキヨトウ日本亜種

海陽町穴喰浦古目, 1♂, 25.XII.2023, sugar bait, ST leg. (Fig. 5-I)

北海道, 本州, 四国 (徳島県, 愛媛県, 高知県), 九州, 屋久島, 奄美大島に分布し, 県内では塩塚高原で記録がある (片岡, 2017; 岸田, 2011b; 岸田ほか, 2018; 近藤, 2024; 真鍋, 2007, 2011). 近年, 国内で分布を東部へ急速に拡大している (鳥海・枝, 2023). 照葉樹林内での糖蜜トラップで得られた (Fig. 8-L).

## 考察

本調査では多くの県初記録種や, 県内で記録の少ない種が得られた. 発生時期や活動時間帯が限局的な種, 活動が天候に大きく左右される種は特に調査できる時期が限られるため記録が少ないことが多く, 数年間に渡る定期的な採集を行うことで生息状況を確認する必要がある. また, イチジョウヒメハマキやミナミトガリアツバなど, 国内から近年記録された種が新たに県内でも確認されているほか, フシキキシタバやマエジロアカフキヨトウなど近年になって全国的に増加, 分布を拡大しつつある種が県内各地で得られるなど, 過去の生物相との変化が現在の記録に反映されている. ホルトノキナガヒゲガなど小型で識別が困難な小蛾類や, ニセトガリヨトウなど同定に交尾器の確認が必要な種はこれまでの調査でも確認ができていなかった. 昆虫相の研究は愛好家による貢献が非常に大きく, 徳島県の蛾類に関しても同様だが, 一方で専門的な技術のある調査者によって新たな知見が得られる余地は大きいと考えられる.

単食者のうち寄主植物の周辺でのみ得られる種や生息環境から移動しない種, さらにライトトラップにも誘引されにくい種は生態を把握した上でピンポイントでの採集が必要であるため記録が少ない. アコウハマキモドキやコケヒメエダシャクは本調査で県内での生息が確認されたが, いずれもわずかな範囲であり, 新産地の発見には同様の環境を1か所ずつ探索する必要がある.

これまでの調査では, 海岸や河川敷など低地の水辺環境 (Figs. 6-I, J, 8-A) も蛾類の記録が限られており, ハマゴウノメイガが広範囲の海岸に分布しているにも関わらず未記録であったほか, 多くの県初記録種が見出された. 特に, 県最長の河川である吉野川は多くの湿地や草原を包含しており (Figs. 7-A, 8-A), これらの環境を選好する種にとって重要である. また, 住宅地の近辺の小川や湿地など, 大規模な調査では見過ごされることの多い場所にも低湿地性の蛾類が点在しており, 未発見の生息地が各地にあること

が推測される. 水辺環境には沈水~抽水植物や海浜植物などで構成される独自の植生があり, 生息する蛾類も特異的であることが多いうえ, 依然として包括的な調査はできていないため, 今後も新たな知見が得られる可能性は高い. このような環境は開発で消失しやすいため, 記録を残すことが急務である.

塩塚高原 (Fig. 7-J) は野焼きによって大規模な草原が維持されており, セダカモクメなど多くの草原性蛾類が得られている. 県内の讃岐山脈や四国山地に点在した草原の多くが劣化, 消失し, チョウ類のオオウラギンヒョウモンなどが絶滅している (徳島県, 2013). そのような現状もあり, 当地は非常に貴重な環境であると言える.

照葉樹林 (Figs. 6-H, 8-I) は県内の低地の主要な植生であり, 広大なため調査が十分に進んでいないが, ヒコサンコアカヨトウなど希少な種が生息することが明らかになりつつある (外村・樋口, 2025). 徳島市の住宅地近郊ではヤクシマヒメキシタバやサヌキキリガといった希少な種が得られ, 温暖な南部の海陽町では数回の調査でクロホソマイコガやクロモンオビリングなど南方系の県初記録種が得られた. 広渡ほか (2022) では1回の調査で多くの県初記録種や四国初記録種が見いだされており, 今後も全域での採集が必要な環境であると言える.

剣山 (Figs. 6-E, 8-K) は県内最高峰で, 冷温帯性広葉樹林が広がっている. シーベルスシャチホコやオオシモフリヨトウなど, 県内では当地のみでしか得られていない種も多く, 本州中部地方以北と共通する蛾類相が存在する貴重な環境と言える (永井・富永, 1971). ただしモンキシロシャチホコのように, 剣山から得られた種が同様の植生のある他の山地の高標高帯にも分布している可能性もあり, 今後の調査が必要である. また, 山頂付近には氷河期から遺存する亜寒帯性針葉樹林がある. トウヒツヅリヒメハマキはその寄主植物や北方性の分布様式から, この一帯にのみ遺存的に分布している可能性があり, より低標高の針葉樹の調査で生息の有無を確認する必要がある.

徳島県のレッドリスト (徳島県, 2013) に選定されている蛾類は4種と少なく, 蛾類相の把握が十分でないことは明らかである. 特に, 開発されやすい湿地~草原性の種 (例: スゲドクガ) や低地の雑木林の種 (例: ウズミケンモン), 全国的に生息地が局限される種 (例: コケヒメエダシャク), 寄主植物そのものが希少と考えられる種 (例: ホソバミツモンケンモン) などは, 他県や環境省のレッドリストに選定されていることが多い. 本報で記録した種のうち, 環境省に掲載されているが県では未掲載の種はクワトゲエダシャク, スゲドクガ, キシタアツバ, ウズミケンモン, ギンモンアカヨトウ, ニセトガリヨトウの6種である. いず

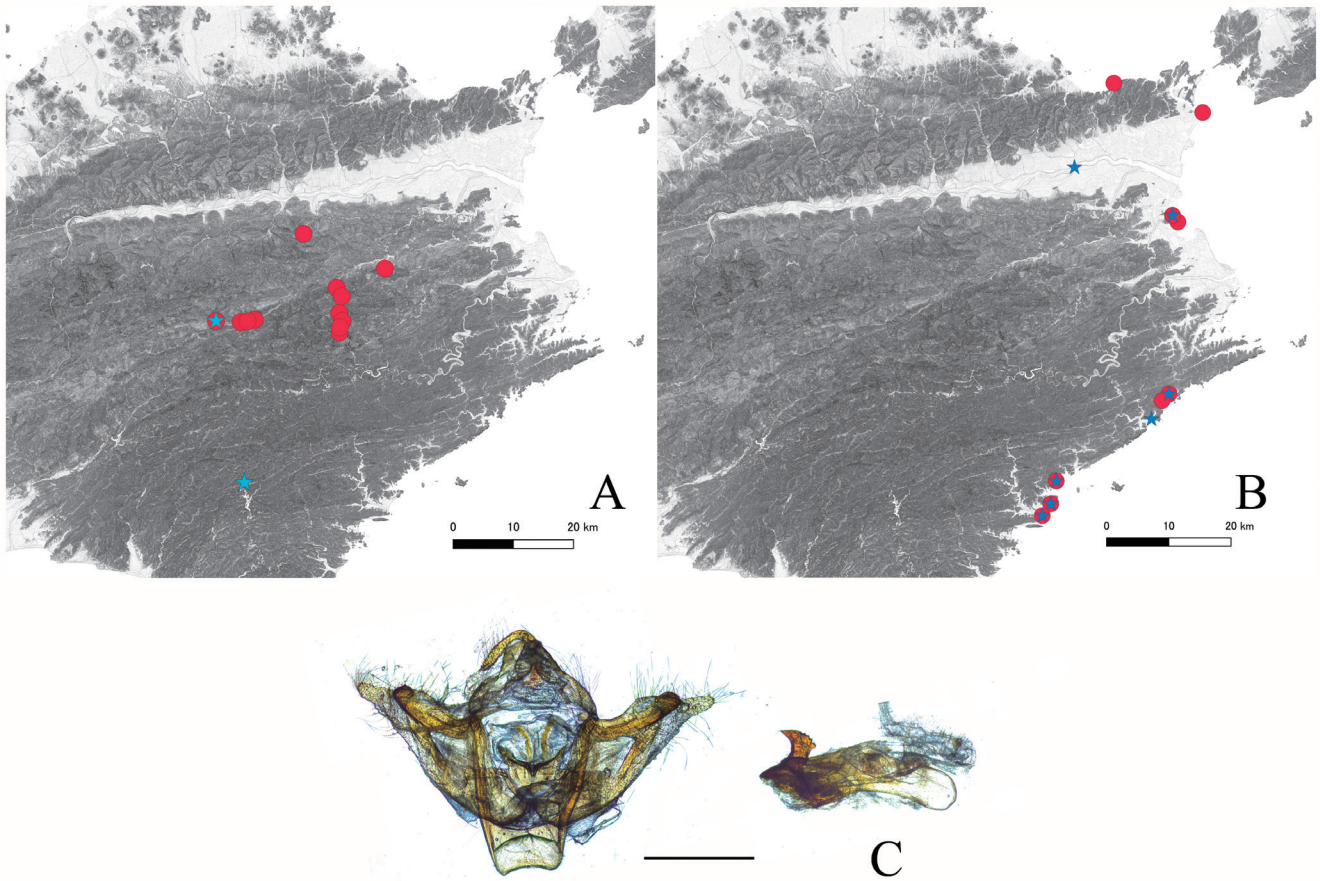


Fig. 9. A: Distribution map of *Neomicropteryx elongata*. Known records are pointed by the blue stars and new records are pointed by the red circles; B: Distribution map of *Hyblaea puera* (pointed by blue stars) and *Aglaops albipennis* (pointed by red circles); C: male genitalia of *Virgo confusa* (scale bars: 0.5 mm). The maps were generated with QGIS ver. 3.22.4 (QGIS Development Team) based on Geographic Information System (GIS).

れも草原や湿地、低地の雑木林など開発に対して脆弱な環境を好む種である。今回の調査によって県内での生息が確認されたものの、多くの種は依然として個体数や生息適地は少ないと思われるため、今後のレッドリスト改定において追加する必要性は高い。これらのような希少な種を擁する生息環境の把握、保護につなげるための知見を今後も蓄積する必要がある。

#### 謝辞

本稿を執筆するにあたり、文献を恵与いただいた屋宜禎央博士（九州大学）、奥 尉平博士（大分県）、久末 遊博士（自然環境研究センター）、ハマゴウノメイガに関して御助言と貴著を賜った松井悠樹博士（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）、サンプルの採集に御協力いただいた中村敬子氏（千年の森ふれあい館）、大原賢二氏（佐那河内いきものふれあいの里 ネイチャーセンタ

ー）、香川周大氏（徳島県）、鈴木佑弥博士（徳島県立博物館）に厚く御礼申し上げます。

#### 引用文献

- 阿部近一. 1990. 徳島県植物誌. 580 p. 教育出版センター, 大阪.
- 赤枝一弘. 1970. 四国剣山で採集したヤガ. 蛾類通信, (59): 699.
- 赤枝一弘. 1972. 四国剣山で採集した蛾. 蛾類通信, (68): 122.
- 尾藤成人. 名古屋市都心部（東区筒井）で採集した蛾類. 誘蛾燈, (120): 75-82.
- 鳥海清一・枝恵太郎. マエジロアカフキヨトウの長野県の記録. 蛾類通信, (305): 162-163.
- 藤川亜也・佐藤祐輔. 2024. 広島県でキオビセセリモドキ

- を採集. 月刊むし, (646): 5.
- 福田輝彦. 2019. 鹿児島県産蛾類抄録. 鹿児島昆虫同好会, CD.
- 福田輝彦・中尾健一郎. 2019. 鹿児島県本土で採集された日本未記録のアツバ亜科の1種. 蛾類通信, (291): 423-424.
- 福蘭貴史. 2022. 熊本県五木村でコケヒメエダシャクを採集. 月刊むし, (620): 49-50.
- 福蘭貴史. 2022. 熊本県でミナミトガリアツバを採集. 月刊むし, (622): 10.
- 布施英明. 1986. 1985年・日本蛾界10大ニュース. 誘蛾燈, (103): 26.
- Hashimoto, S. 2006. A taxonomic study of the family Micropterigidae (Lepidoptera, Micropterigoidea) of Japan, with the phylogenetic relationships among the Northern Hemisphere genera. Bulletin of the Kitakyushu Museum of Natural History and Human History, Series A, 4: 39-109.
- 東 清二・金城政勝・木村正明. 2002. LEPIDOPTERA チョウ(鱗翅目). 東清二(監), 屋富祖昌子ら編, 琉球列島産昆虫目録増補改訂版 p. 397-465. 沖縄生物学会, 西原.
- 林 悦子. 2008. ホソバミツモンケンモンの幼虫と食草. 蛾類通信, (248): 407-408.
- 広渡俊哉・小林茂樹・池内 健・長田庸平・山田量崇. 2015. 剣山系の蛾類(2) - 2010 - 2011年の調査結果一. 徳島県立博物館研究報告, (25): 25-40.
- 広渡俊哉・小林茂樹・池内 健・山田量崇. 2012. 剣山系の蛾類(1) - 2009年の調査結果一. 徳島県立博物館研究報告, (22): 45-55.
- 広渡俊哉・那須義次・坂巻祥孝・岸田泰則編. 2013. 日本産蛾類標準図鑑 III. 359p. 学研教育出版, 東京.
- 広渡俊哉・屋宜禎央・鈴木信也・外村俊輔・小林茂樹・山田量崇. 2022. 徳島県海部郡海陽町2地点での蛾類調査 - 2012年の調査結果一. 徳島県立博物館研究報告, (32): 13-25.
- 石原 保・宮武睦夫・久松定成・枝重忠夫・佐々木幸太. 1953. 石鎚山と面河溪の昆虫相. 四國昆蟲學會會報, 3 (Supplementum): 1-166.
- 石塚勝己. 2011. 世界の *Catocala*. 108p. 有限会社むし社, 東京.
- Issiki, S. 1953. Micropterigoidea of Japan. Bulletin of the Naniwa University. Series B, Agricultural and natural sciences. Zoology and botany, 3: 133-140.
- 神保宇嗣. 2021. List-Mj 日本産蛾類総目録 [version 3]. <http://listmj.mothprog.com/> (2025年11月24日閲覧)
- 神保宇嗣・大和田守・有田 豊. 2019. 自然教育園の鱗翅類相調査(2016年 - 2019年). 自然教育園報告, (51): 73-108.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室. 2015. レッドデータブック 2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - 5 昆虫類. 508p. 株式会社ぎょうせい, 東京.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室. 2020. 環境省レッドリスト 2020 補遺資料. 63p. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 東京.
- 片岡敬一. 2015. アコウハマキモドキ. いよにす, (31): 76.
- 片岡敬一. 2017. 愛媛県蛾類採集記録. 365p. 愛蝶会, 愛媛.
- 片岡敬一. 2020. 愛媛県蛾類採集記録の正誤表及び追加種. いよにす, (36): 124-133.
- 河村 忠. 1984. 福岡県産蛾類目録 北九州市立自然史博物館自然史資料第1号. 339p. 北九州市立自然史博物館, 福岡.
- 川島保夫. 2017a. 四国産の蛾類(1). げんせい, (93): 3-6.
- 川島保夫. 2017b. 四国産の蛾類(3). げんせい, (93): 13-16.
- 川島保夫. 2017c. 四国産の蛾類(4). げんせい, (93): 17-22.
- 川島保夫. 2017d. 四国産の蛾類(5). げんせい, (93): 23-28.
- 岸田泰則編. 2011a. 日本産蛾類標準図鑑 I. 352p. 学研教育出版, 東京.
- 岸田泰則編. 2011b. 日本産蛾類標準図鑑 II. 416p. 学研教育出版, 東京.
- 岸田泰則・秋葉哲男・飯森政宏・北島裕紀・阪本優介・矢野高広・神保宇嗣. 2018. 2017年, 環境省の静岡県朝霧高原の調査で得られた蛾. 蛾類通信, (285): 241-246.
- 岸田泰則・吉本 浩. 1991. 日本および台湾産トガリヨトウ属(ヤガ科)の2新種. Tyô to Ga, 42 (2): 107-113.
- 小林秀紀編. 2016. 日本の冬夜蛾. 112p. 有限会社むし社, 東京.
- 小林真大. 2024. ヤクシマヒメキシタバの産卵行動. 蛾類通信, (311): 317-318.
- 小谷知福. 1962. 徳島県産蛾類仮目録 No. 1. 45p, 3pls. 自費出版, 徳島.
- 小島圭三・和田豊洲・中村重久・河上友三・岩崎起久子. 1964. 四国産ガ類. 186p. 高知大学, 高知.

- 近藤直人. 2024. 渡島半島最南部で採集された北海道未記録種. 誘蛾燈, (257) : 69–73.
- 高知県林業振興・環境部環境共生課. 2017. 高知県レッドリスト (動物) 2017 改訂版. 93p. 高知県林業振興・環境部環境共生課, 高知.
- 真鍋泰彦. 1999a. 高知県本川村の蛾. げんせい, (74) : 3–7.
- 真鍋泰彦. 1999b. 高知県程野の蛾 (III). げんせい, (74) : 8–12.
- 真鍋泰彦. 1999c. 高知県別府峡の蛾. げんせい, (74) : 13–18.
- 真鍋泰彦. 2003. 四国西部の蛾. げんせい, (78) : 7–11.
- 真鍋泰彦. 2007. 南四国の記録しておきたい蛾類 1. 誘蛾燈, (189) : 77–84.
- 真鍋泰彦. 2011a. 南四国の蛾類. げんせい, (87) : 17–21.
- 真鍋泰彦. 2011b. 南四国の記録しておきたい蛾類 3. 誘蛾燈, (205) : 113–118.
- 真鍋泰彦. 2012a. 横浪半島の蛾類 (3). げんせい, (88) : 15–19.
- 真鍋泰彦. 2012b. 2011 年 5 月に与那国島で得た蛾. 蛾類通信, (265) : 370–374.
- 真鍋泰彦. 2016. 四国の記録しておきたい蛾類. げんせい, (92) : 15–19.
- 真鍋泰彦. 2019. 河上友三氏の採集した四国の注目すべき蛾類. げんせい, (95) : 13–16.
- 間野隆裕. 2021. チビウスキヨトウとオオツバメエダシャクの山口県の記録. 誘蛾燈, (243) : 26.
- 間野隆裕・宮野昭彦・遠藤弘志・高村朋佳・金子岳夫・山田真澄・水野利彦・岩下幸平. 2016. IX 昆虫類, チョウ目 (ガ類). 豊田市生物調査報告書. [https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/\\_001/016/111/02new/003\\_03.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/016/111/02new/003_03.pdf) (2025 年 11 月 30 日閲覧)
- 間野隆裕. 2023. イチジョウヒメハマキ *Dicephalarcha dependens* (Meyrick, 1922) の愛知県からの記録. 蝶と蛾, 74 : 37–38.
- 間野隆裕. 2024. イチジョウヒメハマキ *Dicephalarcha dependens* (Meyrick, 1922) の西表島からの記録. 蛾類通信, (311) : 321.
- 増井武彦. 1977. 四国の蛾の分布資料 (II) 四国未記録のヤガ 45 種. 蛾類通信, (92), 521–531.
- 増井武彦. 1978a. 四国の蛾の分布資料 (V) 四国未記録のヤガ 21 種. 蛾類通信, (98), 624–628.
- 増井武彦. 1978b. 四国の蛾の分布資料 (VI) シャチホコガ, 誘蛾燈, (74), 125–134.
- 増井武彦. 1979. 四国の蛾の分布資料 (VII) 香川県未記録ヤガ 56 種について. 蛾類通信, (101), 10–15.
- 増井武彦. 1980. ヤクシマキリガ晩秋に発生す. 蛾類通信, (110) : 102.
- 増井武彦. 1981. 四国の蛾の分布資料 (XIII) 四国未記録のヤガ 25 種. 蛾類通信, (111) : 166–172.
- 増井武彦. 2012a. 四国で最初に採集されたヤクシマヒメキシタバの記録. 誘蛾燈, (209) : 98.
- 増井武彦. 2012b. 四国の蛾の分布資料 (XIV) 四国の *Laelia* 属はスケドクガ. 誘蛾燈, (210) : 129–132.
- 松井悠樹. 2019. 鳥取県中・東部におけるハマゴウノメイガの記録. すかしば, (66) : 34–35.
- 三木将義. 1983. 徳島でフチグロトゲエダシャクを採集. げんせい, (43) : 44.
- 宮野昭彦. 2023. 五島列島福江島の蛾類 (4). 佳香蝶, 75 (296) : 189–199.
- 虫撮りデジカメ日記. 2025. <https://kisar.sakura.ne.jp/insects/1918tumakihosohamakimo.html> (2025 年 11 月 30 日閲覧)
- 永井洋三・富永彬夫. 1971. 剣山とその周辺のカガ類. 剣山・県民の森総合学術調査報告書 : 198–231.
- 中越敏博. 1999. 高知県龍河洞付近で採集した蛾二種. げんせい, (73) : 7.
- Nakamura, M. 1978. Some new species and subspecies of Notodontidae from Japan and adjacent regions. *Tinea*, 10 (22) : 213–224.
- 中西弘樹. 2020. アコウの巨木と天然記念物—長崎県を中心として. 長崎県生物学会誌, 86 : 8–12.
- 中山紘一. 1984. ヤガ 2 種の記録. げんせい, (45) : 17.
- 那須義次. 2021. 日本のハマキガ 1. *Tinea*, 26 (supplement 1) : 1–171.
- 那須義次・広渡俊哉・岸田泰則編. 2013. 日本産蛾類標準図鑑 IV. 552p. 学研教育出版, 東京.
- 那須義次・広渡俊哉・坂巻祥孝・岸田泰則編著. 2023. 日本の小蛾類. 191p. 株式会社 Gakken, 東京.
- 那須義次・清水 一. 2021. 日本新記録の *Dicephalarcha dependens* (Meyrick) (ハマキガ科, ヒメハマキガ亜科). 蛾類通信, (297) : 582–583.
- 西尾規孝. 2007. *Catocala* の都道府県別分布概況. 誘蛾燈, (188) : 61–68.
- 野崎敦士. 2018. 大分県でヤクシマヒメキシタバを採集. 二豊のむし, (56) : 77.
- 沼口憲治. 1980. 愛媛県におけるセダカモクメ亜科の記録. 蛾類通信, (108) : 115–117.

- 大貝秀雄. 2013. 兵庫県で採集した注目すべき蛾 2 種. 月刊むし, (509) : 48.
- 長田庸平. 2017. 宮古諸島で記録された蛾類. 蛾類通信, (281) : 144–148.
- 長田庸平・桂孝次郎. 2023. 大阪府大阪市(靱公園・いのちの森)におけるイチジョウヒメハマキの記録. 誘蛾燈, (251) : 18–19.
- 坂口清一. 1972. 四国未記録及び香川県で未発表と思われる蛾. 香川生物, (5) : 59–65.
- 櫻井正俊. 2015. 大蛾類. 堀繁久・櫻井正俊編, 昆虫図鑑 北海道の蝶と蛾, p. 91–210. 北海道新聞社, 北海道.
- 佐野信雄・高八稔弘. 1998. 徳島県でシンジュキノカワガを採集. へりぐる, (19) : 41.
- 四国産蛾類図鑑. 2025. <http://homepage64.private.cocacn.jp/z41shikokugaruizukan.html> (2025 年 11 月 30 日閲覧)
- 清水洋一. 1999. 石鎚山で採集した注目すべき蛾. 誘蛾燈, (156) : 56–59.
- 杉繁郎・朴世旭. 1970. 済州島および日本西部で発見された *Cymatophoropsis unca* (Houlbert, 1921) について. 蛾類通信, (63) : 46–47.
- 鈴木重孝・駒井古実. 1984. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場研究報告, 22 : 85–129.
- 田島 尚. 2024. サヌキキリガの 2 月の採集記録. 蛾類通信, (309) : 258–259.
- 高八稔弘. 1999. 香川県でシンジュキノカワガを採集. へりぐる, (20) : 41.
- 高橋弘樹. 2025. 高知県でミナミトガリアツバを採集. 月刊むし, (658) : 20.
- 徳島県. 2013. 徳島県版レッドリスト 昆虫類<改訂:平成 25 年>. [https://www.pref.tokushima.lg.jp/kankyo/kankoubutu/red\\_date.html](https://www.pref.tokushima.lg.jp/kankyo/kankoubutu/red_date.html) (2025 年 11 月 30 日閲覧)
- 徳島県. 2014. 徳島県版レッドリスト 維管束植物<改訂:平成 26 年>. [https://www.pref.tokushima.lg.jp/kankyo/kankoubutu/red\\_date.html](https://www.pref.tokushima.lg.jp/kankyo/kankoubutu/red_date.html) (2025 年 11 月 30 日閲覧)
- 富永 智. 2006. ホルトノキナガヒゲガはコバンモチも食べる. 蛾類通信, (240) : 268.
- 外村俊輔・樋口博美. 2025. 樋口博美ガ類コレクション(I): 2017 年に徳島県文化の森総合公園で採集されたガ類. 徳島県立博物館研究報告, (35) : 85–99.
- 外村俊輔・樋口博美. 2026. 樋口博美ガ類コレクション(II): 2017 年から 2018 年にかけて徳島県文化の森総合公園で採集されたガ類. 徳島県立博物館研究報告, (36) : 43–61.
- 豊嶋 弘・高木真人. 1979. 高山および周辺地域の昆虫(目録). 香南台地および高山の生物 : 111–131.
- 坪田 瑛. 2018. ヤクシマヒメキシタバを兵庫県市川町で採集. 誘蛾燈, (234) : 147–148.
- 内田 清. 2024. 徳島県でシンジュキノカワガを採集. 月刊むし, (637) : 45.
- 山本栄治・増井武彦. 2000. 小田深山およびその周辺の蛾類. 小田深山の自然 II : 1023–1144.
- 吉田元重. 2019. くろしお特別号(和歌山県の蛾類目録) 202p. 南紀生物同好会, 和歌山.